

安城市 地震対策に関する市民アンケート結果

■実施概要

実施期間	令和5年10月5日～11月10日
対象	安城市内在住の満18歳以上（無作為抽出）
配布数	3,000件
配布・回収方法	郵送
回収数	1464件（回収率：48.8%）

■回答の傾向

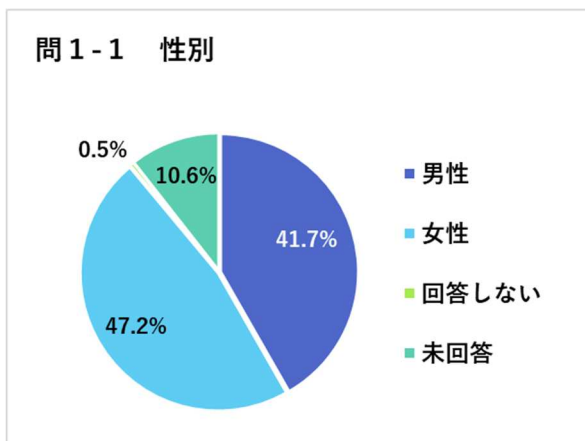
- ・南海トラフ地震が100～150年周期で繰り返し発生しており、前回の発生から70年以上が経過していることについて、「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した人は80.4%であり、南海トラフ地震の認知度は高い結果となった。一方、南海トラフ地震が発生したときの安城市の想定震度や被害想定を「知っている」又は「地震ハザードマップを見たことがある」と回答した人は58.7%、南海トラフ地震臨時情報を「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した人は43.0%となり、高い割合ではなかった。（問3、問4、問5）
- ・食料や水を備蓄している割合（48.9%）と比べ、携帯トイレ（便袋）や簡易トイレを準備している割合は、25.3%と低い結果になった。また、食料や水の備蓄について、最低でも3日分を備蓄するよう周知しており、調査結果によると食料3日分以上の割合は58.9%となり前回（48.9%）から10ポイント、水3日分以上の割合は50.7%となり前回（46.8%）から3.9ポイントといずれも増加した。（問8、問9、問10）
- ・感震ブレーカーの設置について、約4割の人が「設置しているかわからない」と回答し、「設置していない」と回答した36.1%についても、半数程度の人が感震ブレーカーを知らないと回答したことから、関心度が低い状況である。（問12、問13）
- ・家具等の固定や転倒防止対策について、「行っている（全部、一部）」の割合は49.4%となり、前回（29.9%）から19.5ポイント増加した。また、自宅の耐震診断や耐震改修について、「行っている」の割合は58.7%となり、前回（44.9%）から13.8ポイント増加した。一方、自宅の耐震診断や耐震改修を「行っていない」人の傾向として、金銭面での負担を理由に挙げている人が最も多い結果となった。（問14、問16、問17）
- ・大地震が発生したときに安城市からの情報を入手する手段として、「テレビ（地域のケーブルテレビを含む）」と回答する人が最も多く、次いで「市公式ウェブサイト（ホームページ）」、「防災アプリ（Yahoo! 防災速報など）」の順となった。（問18）
- ・大地震が発生した場合の避難先として、指定避難所以外に「親せき・知人宅」及び「車の中」の割合も一定数あった。また、自宅に被害が無ければライフラインが断絶しても自宅を選んだ人の割合が最も多く、在宅避難者への支援も重要である。（問20）
- ・安城市の防災対策として、これからさらに力を入れてほしい取り組みとして、「災害時の医療体制の強化」、「迅速な災害情報・復旧情報の配信」、「避難所環境の整備（空調の整備、発電機の整備、通信障害対策など）」を望む意見が多い結果となった。また、防災・減災に関する意見においても「情報発信」に関する内容が多く寄せられた。（問26、問27）

■集計結果

1 あなた自身について

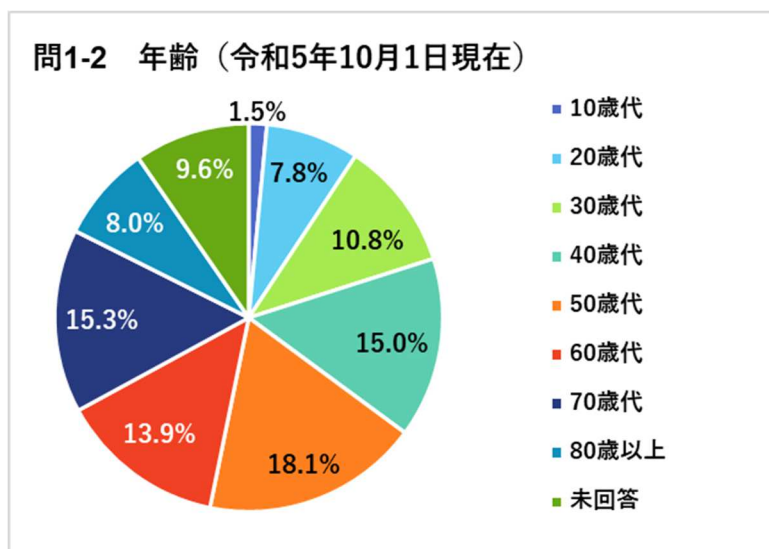
問1-1 性別

	回答数	構成率
男性	611	41.7%
女性	691	47.2%
回答しない	7	0.5%
未回答	155	10.6%
合計	1464	100.0%



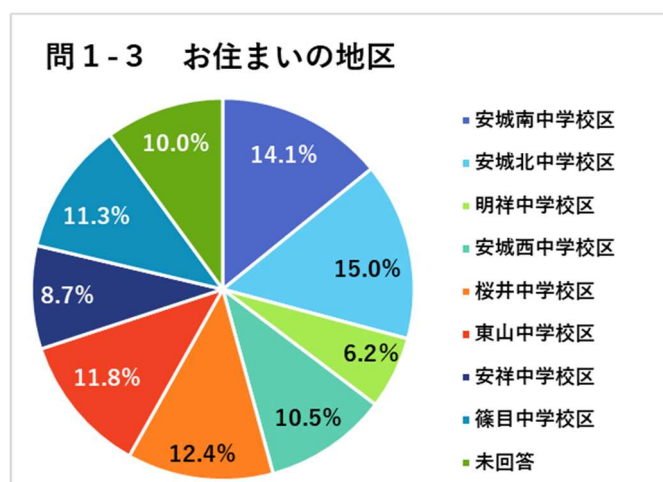
問1-2 年齢（令和5年10月1日現在）

	回答数	構成率
10歳代	22	1.5%
20歳代	114	7.8%
30歳代	158	10.8%
40歳代	220	15.0%
50歳代	265	18.1%
60歳代	203	13.9%
70歳代	224	15.3%
80歳以上	117	8.0%
未回答	141	9.6%
合計	1464	100.0%



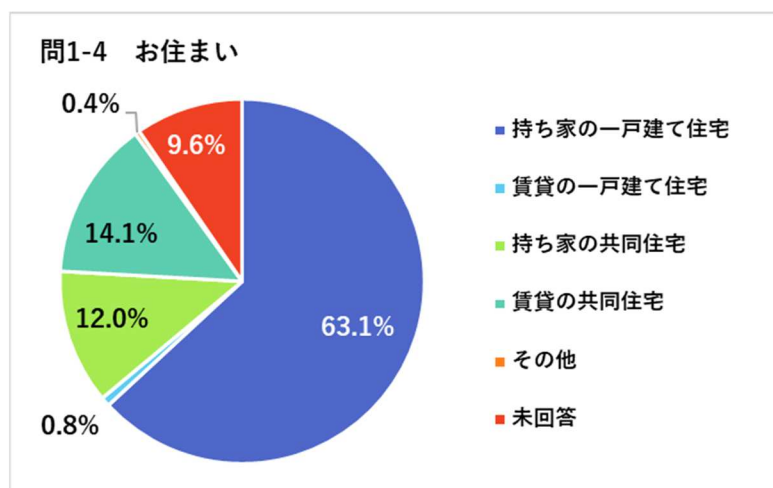
問1-3 お住まいの地区

	回答数	構成率
安城南中学校区	207	14.1%
安城北中学校区	220	15.0%
明祥中学校区	90	6.2%
安城西中学校区	153	10.5%
桜井中学校区	181	12.4%
東山中学校区	173	11.8%
安祥中学校区	128	8.7%
篠目中学校区	165	11.3%
未回答	147	10.0%
合計	1464	100.0%



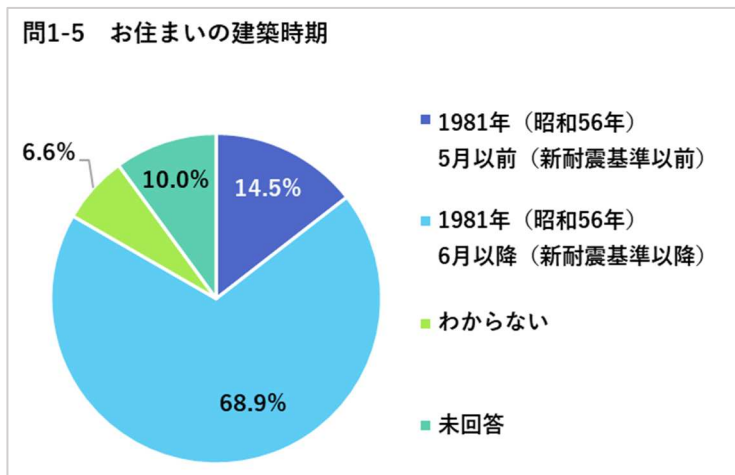
問1-4 お住まい

	回答数	構成率
持ち家の一戸建て住宅	924	63.1%
賃貸の一戸建て住宅	12	0.8%
持ち家の共同住宅	175	12.0%
賃貸の共同住宅	207	14.1%
その他	6	0.4%
未回答	140	9.6%
合計	1464	100.0%



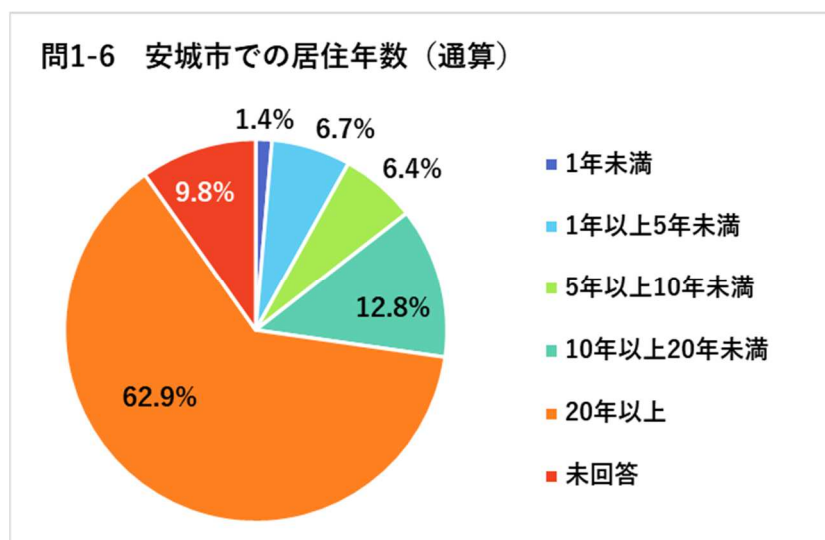
問1-5 お住まいの建築時期

	回答数	構成率
1981年（昭和56年） 5月以前（新耐震基準以前）	212	14.5%
1981年（昭和56年） 6月以降（新耐震基準以降）	1008	68.9%
わからない	97	6.6%
未回答	147	10.0%
合計	1464	100.0%



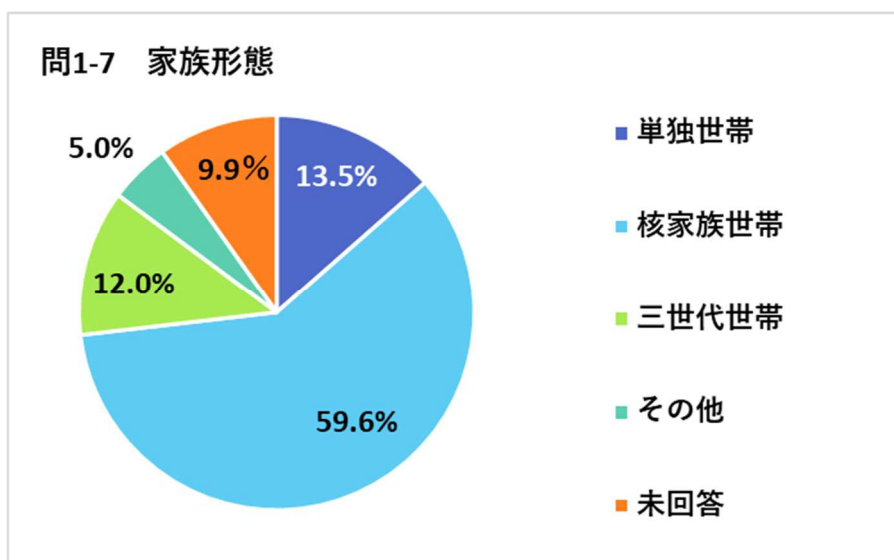
問1-6 安城市での居住年数（通算）

	回答数	構成率
1年未満	20	1.4%
1年以上5年未満	98	6.7%
5年以上10年未満	94	6.4%
10年以上20年未満	187	12.8%
20年以上	921	62.9%
未回答	144	9.8%
合計	1464	100.0%



問1-7 家族形態

	回答数	構成率
単独世帯	198	13.5%
核家族世帯 (夫婦のみの世帯、夫婦と子のみの世帯)	873	59.6%
三世代世帯	176	12.0%
その他	73	5.0%
未回答	144	9.9%
合計	1464	100.0%

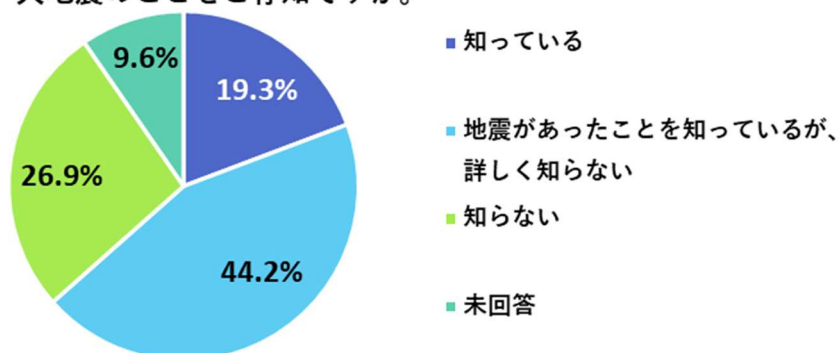


2 大地震への関心と不安について

問2 三河地震、昭和東南海地震など安城市周辺で過去に起こった大地震のことをご存知ですか。

	回答数	構成率
知っている	282	19.3%
地震があったことを知っているが、詳しく知らない	647	44.2%
知らない	394	26.9%
未回答	141	9.6%
合計	1464	100.0%

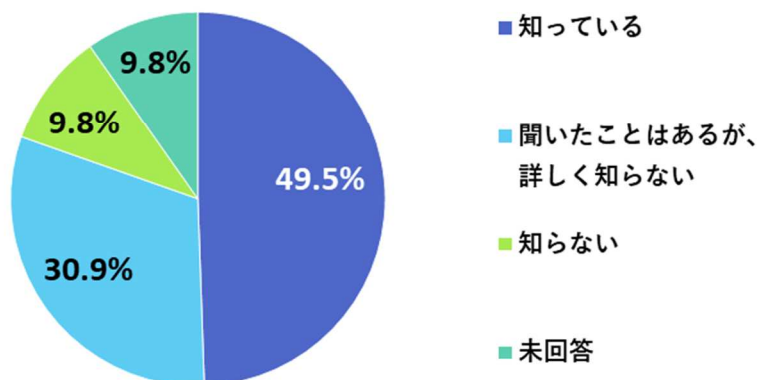
問2 三河地震、昭和東南海地震など安城市周辺で過去に起こった大地震のことをご存知ですか。



問3 南海トラフ地震が100～150年の周期で繰り返し発生しており、前回の発生から70年以上が経過していることをご存知ですか。

	回答数	構成率
知っている	724	49.5%
聞いたことはあるが、詳しく知らない	453	30.9%
知らない	144	9.8%
未回答	143	9.8%
合計	1464	100.0%

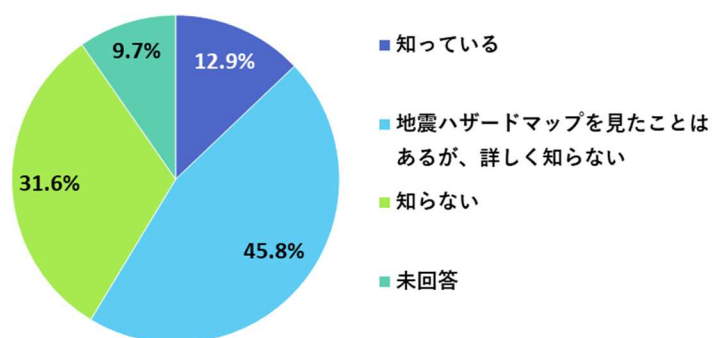
問3 南海トラフ地震が100～150年の周期で繰り返し発生しており、前回の発生から70年以上が経過していることをご存知ですか。



問4 南海トラフ地震が発生したときの安城市の想定震度や被害想定をご存知ですか。

	回答数	構成率
知っている	189	12.9%
地震ハザードマップを見たことはあるが、詳しく知らない	670	45.8%
知らない	463	31.6%
未回答	142	9.7%
合計	1464	100.0%

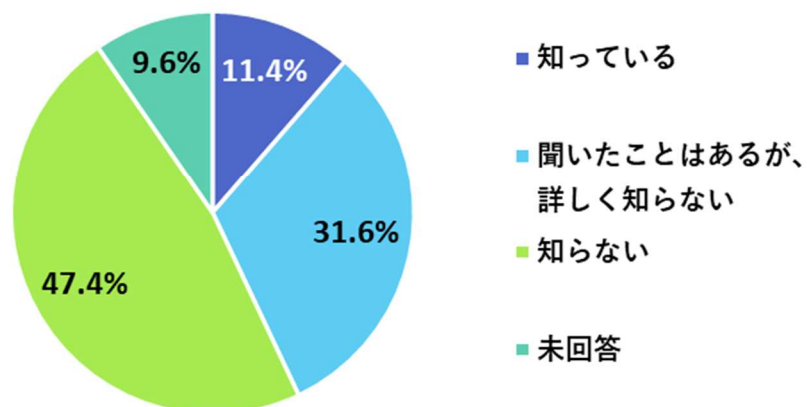
問4 南海トラフ地震が発生したときの安城市の想定震度や被害想定をご存知ですか。



問5 「南海トラフ地震臨時情報」をご存知ですか。

	回答数	構成率
知っている	167	11.4%
聞いたことはあるが、詳しく知らない	462	31.6%
知らない	694	47.4%
未回答	141	9.6%
合計	1464	100.0%

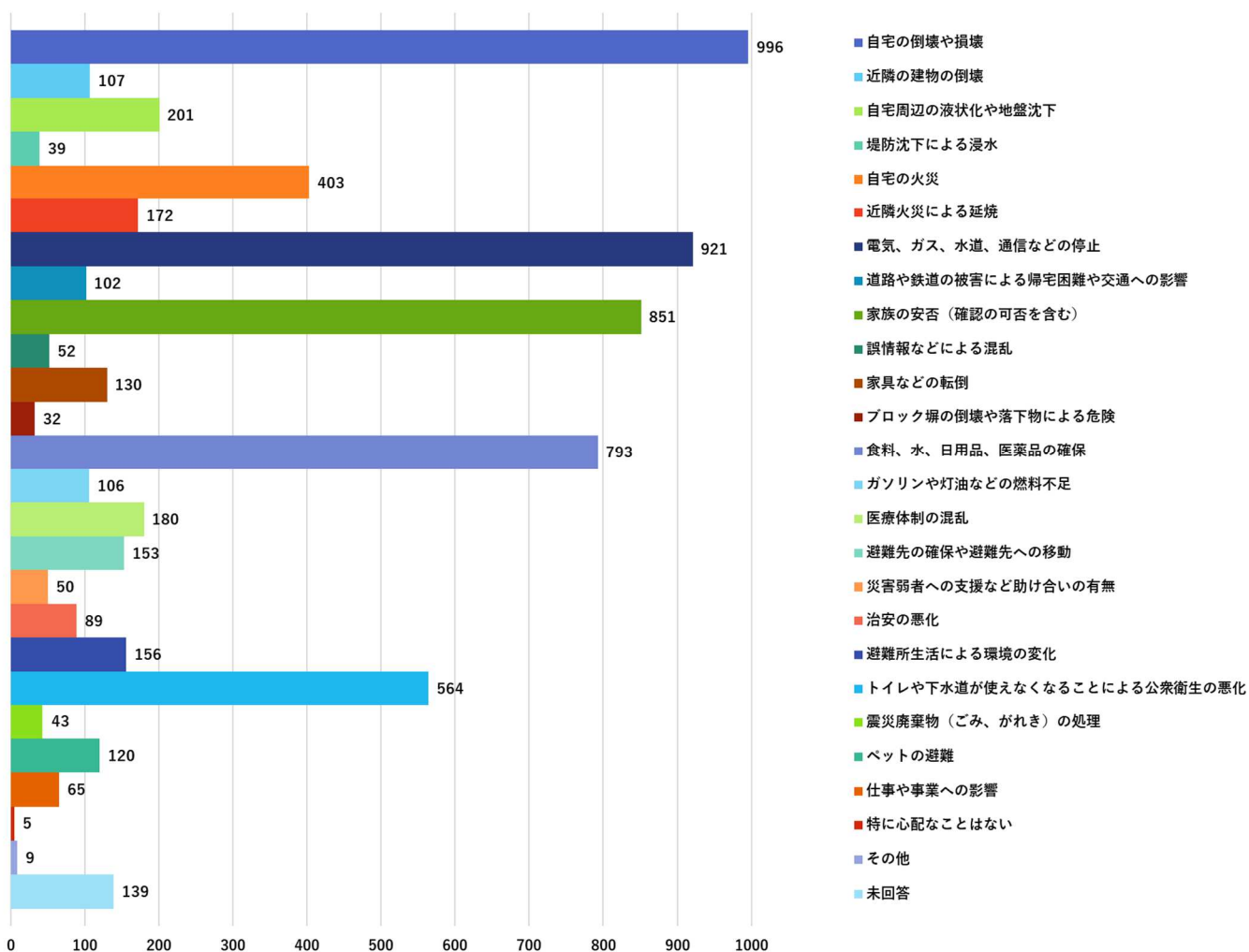
問5 「南海トラフ地震臨時情報」をご存知ですか。



問6 大地震が起きたときにあなたが心配になることは何ですか。(回答は5つまで)

	回答数	構成率※		回答数	構成率※
自宅の倒壊や損壊	996	68.0%	ガソリンや灯油などの燃料不足	106	7.2%
近隣の建物の倒壊	107	7.3%	医療体制の混乱	180	12.3%
自宅周辺の液状化や地盤沈下	201	13.7%	避難先の確保や避難先への移動	153	10.5%
堤防沈下による浸水	39	2.7%	災害弱者への支援など助け合いの有無	50	3.4%
自宅の火災	403	27.5%	治安の悪化	89	6.1%
近隣火災による延焼	172	11.7%	避難所生活による環境の変化	156	10.7%
電気、ガス、水道、通信などの停止	921	62.9%	トイレや下水道が使えなくなることによる公衆衛生の悪化	564	38.5%
道路や鉄道の被害による帰宅困難や交通への影響	102	7.0%	震災廃棄物(ごみ、がれき)の処理	43	2.9%
家族の安否(確認の可否を含む)	851	58.1%	ペットの避難	120	8.2%
誤情報などによる混乱	52	3.6%	仕事や事業への影響	65	4.4%
家具などの転倒	130	8.9%	特に心配なことはない	5	0.3%
ブロック塀の倒壊や落下物による危険	32	2.2%	その他	9	0.6%
食料、水、日用品、医薬品の確保	793	54.2%	未回答	139	9.5%
※構成率は総回収数1464件を100%とした割合			合計	6478	

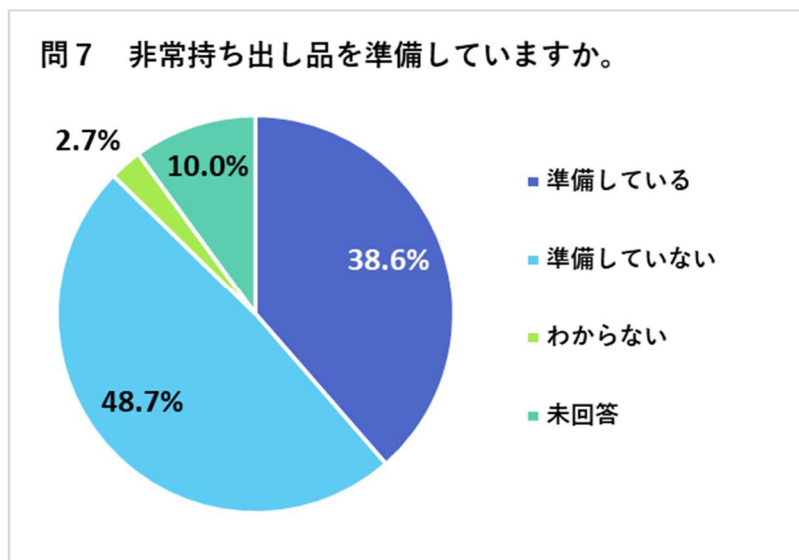
問6 大地震が起きたときにあなたが心配になることは何ですか。(回答は5つまで)



3 地震への備えについて

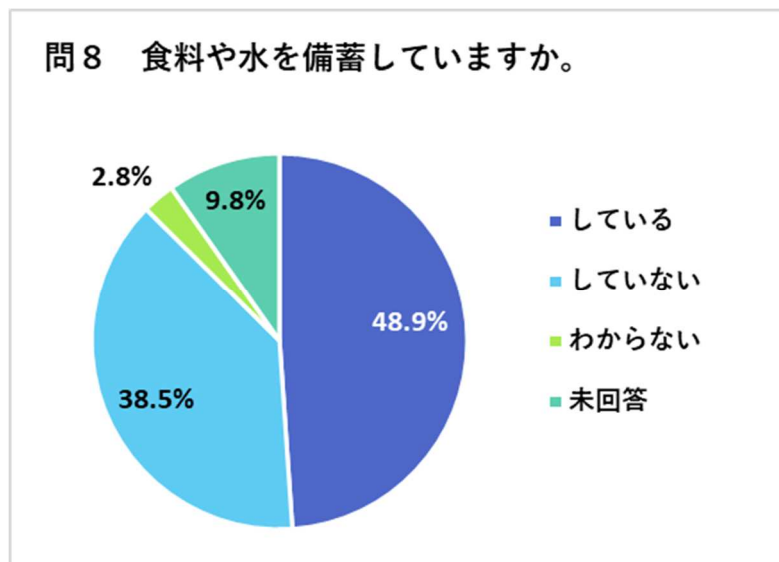
問7 非常持ち出し品を準備していますか。

	回答数	構成率
準備している	565	38.6%
準備していない	713	48.7%
わからない	39	2.7%
未回答	147	10.0%
合計	1464	100.0%



問8 食料や水を備蓄していますか。

	回答数	構成率
している	716	48.9%
していない	564	38.5%
わからない	41	2.8%
未回答	143	9.8%
合計	1464	100.0%

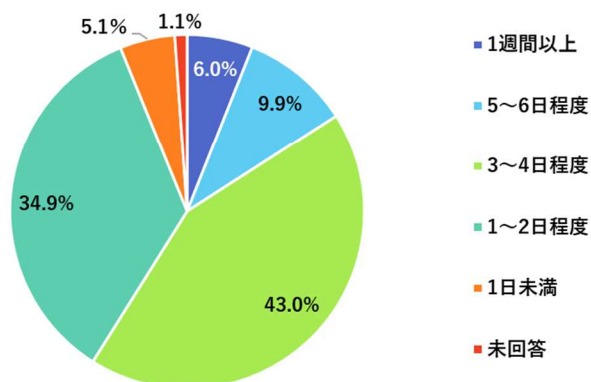


問9 問8で「している」と回答された方にお聞きします。ご自宅に災害用として備蓄している食料と水は何日分ですか。

【食料】（1人あたり1日3食で計算してください。）

	回答数	構成率
1週間以上	43	6.0%
5～6日程度	71	9.9%
3～4日程度	308	43.0%
1～2日程度	250	34.9%
1日未満	36	5.1%
未回答	8	1.1%
合計	716	100.0%

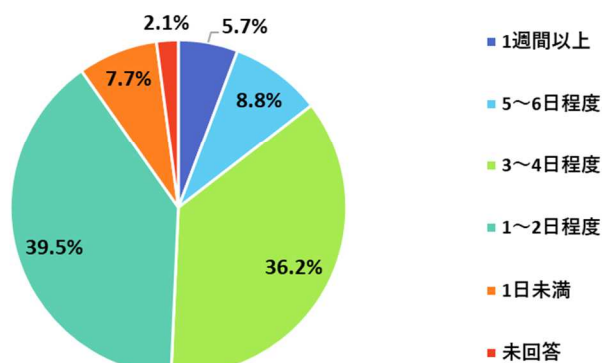
問9-1 問8で「している」と回答された方にお聞きします。ご自宅に災害用として備蓄している食料は何日分ですか。（1人あたり1日3食で計算してください。）



【水】（1人あたり1日3リットルで計算してください。）

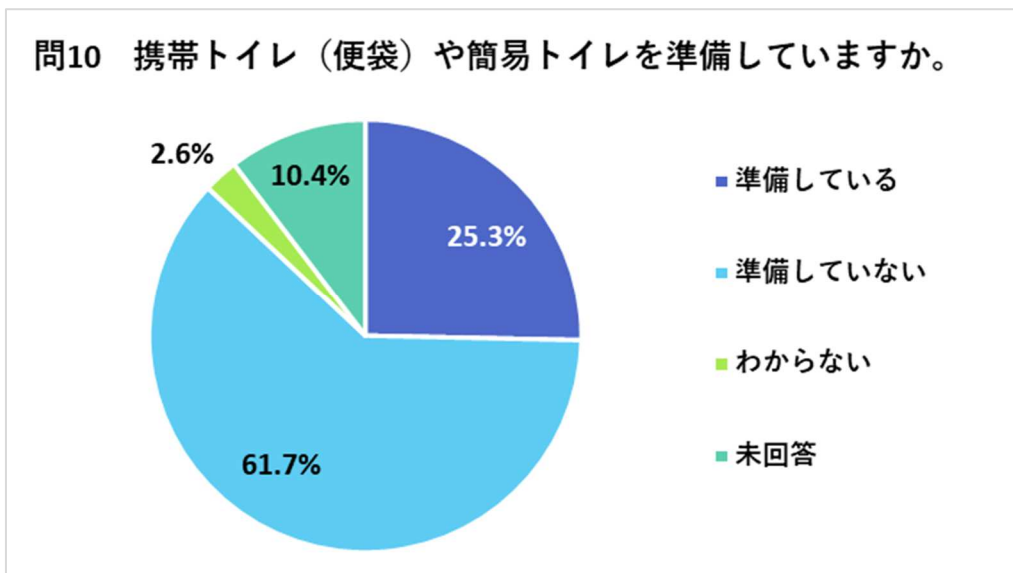
	回答数	構成率
1週間以上	41	5.7%
5～6日程度	63	8.8%
3～4日程度	259	36.2%
1～2日程度	283	39.5%
1日未満	55	7.7%
未回答	15	2.1%
合計	716	100.0%

問9-2 問8で「している」と回答された方にお聞きします。ご自宅に災害用として備蓄している水は何日分ですか。（1人あたり1日3リットルで計算してください。）



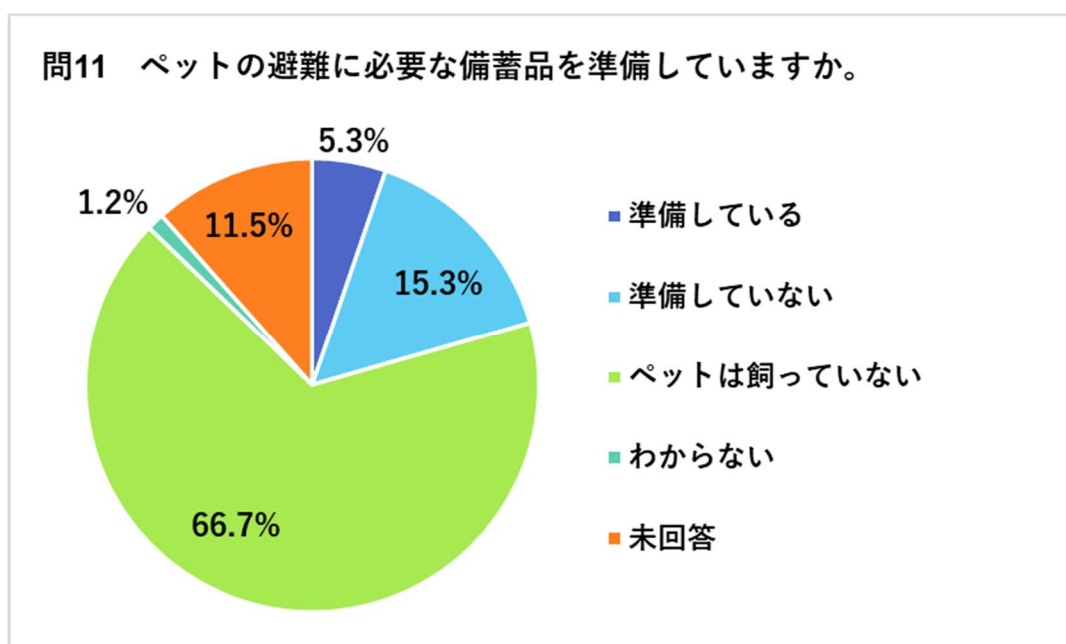
問 10 携帯トイレ（便袋）や簡易トイレを準備していますか。

	回答数	構成率
準備している	371	25.3%
準備していない	903	61.7%
わからない	38	2.6%
未回答	152	10.4%
合計	1464	100.0%



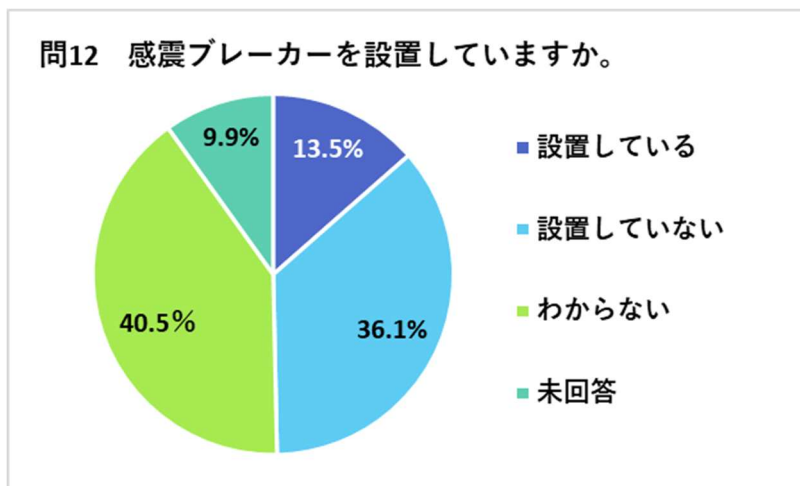
問 11 ペットの避難に必要な備蓄品を準備していますか。

	回答数	構成率
準備している	77	5.3%
準備していない	224	15.3%
ペットは飼っていない	976	66.7%
わからない	18	1.2%
未回答	169	11.5%
合計	1464	100.0%



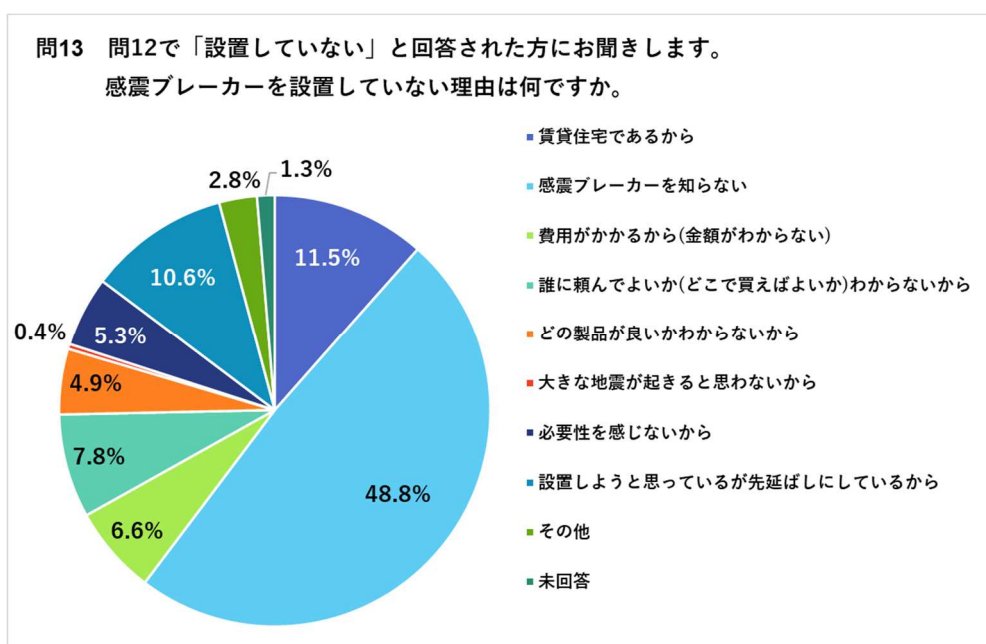
問 12 感震ブレーカーを設置していますか。

	回答数	構成率
設置している	198	13.5%
設置していない	529	36.1%
わからない	592	40.5%
未回答	145	9.9%
合計	1464	100.0%



問 13 問 12 で「設置していない」と回答された方にお聞きします。感震ブレーカーを設置していない理由は何ですか。

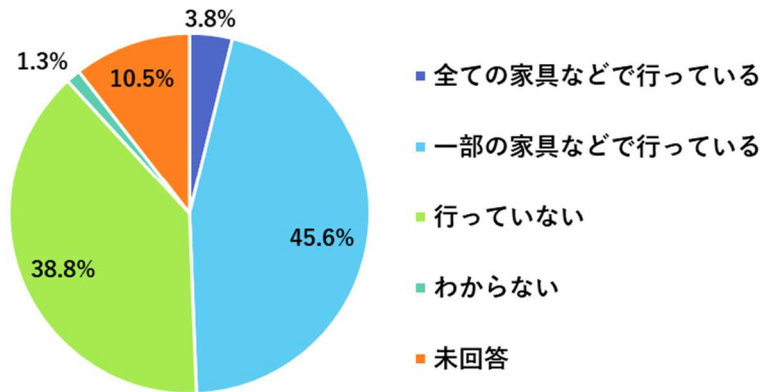
	回答数	構成率
賃貸住宅であるから	61	11.5%
感震ブレーカーを知らない	258	48.8%
費用がかかるから(金額がわからない)	35	6.6%
誰に頼んでよいか(どこで買えばよいか)わからないから	41	7.8%
どの製品が良いかわからないから	26	4.9%
大きな地震が起きると思わないから	2	0.4%
必要性を感じないから	28	5.3%
設置しようと思っているが先延ばしにしているから	56	10.6%
その他	15	2.8%
未回答	7	1.3%
合計	529	100.0%



問 14 家具などの固定や転倒防止対策を行っていますか。

	回答数	構成率
全ての家具などでやっている	56	3.8%
一部の家具などでやっている	667	45.6%
行っていない	568	38.8%
わからない	19	1.3%
未回答	154	10.5%
合計	1464	100.0%

問14 家具などの固定や転倒防止対策を行っていますか。

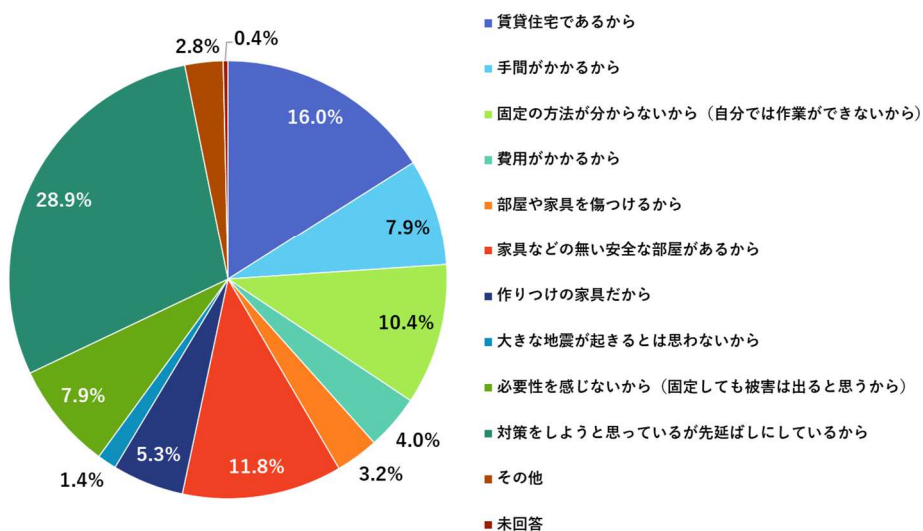


問 15 問 14 で「行っていない」と回答された方にお聞きします。転倒防止対策を行っていない理由は何ですか。

	回答数	構成率
賃貸住宅であるから	91	16.0%
手間がかかるから	45	7.9%
固定の方法が分からないから（自分では作業ができないから）	59	10.4%
費用がかかるから	23	4.0%
部屋や家具を傷つけるから	18	3.2%
家具などの無い安全な部屋があるから	67	11.8%
作りつけの家具だから	30	5.3%
大きな地震が起きるとは思わないから	8	1.4%
必要性を感じないから（固定しても被害は出ると思うから）	45	7.9%
対策をしようと思っているが先延ばしにしているから	164	28.9%
その他	16	2.8%
未回答	2	0.4%
合計	568	100.0%

問15 問14で「行っていない」と回答された方にお聞きします。

転倒防止対策を行っていない理由は何ですか。

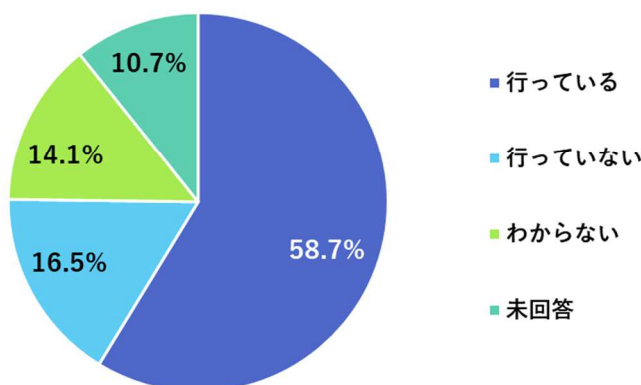


問 16 自宅は耐震診断や耐震改修を行っていますか。

(1981年(昭和56年)6月以降の建物は、新耐震基準に適合しているため、「行っている」に回答してください。)

	回答数	構成率
行っている	860	58.7%
行っていない	241	16.5%
わからない	206	14.1%
未回答	157	10.7%
合計	1464	100.0%

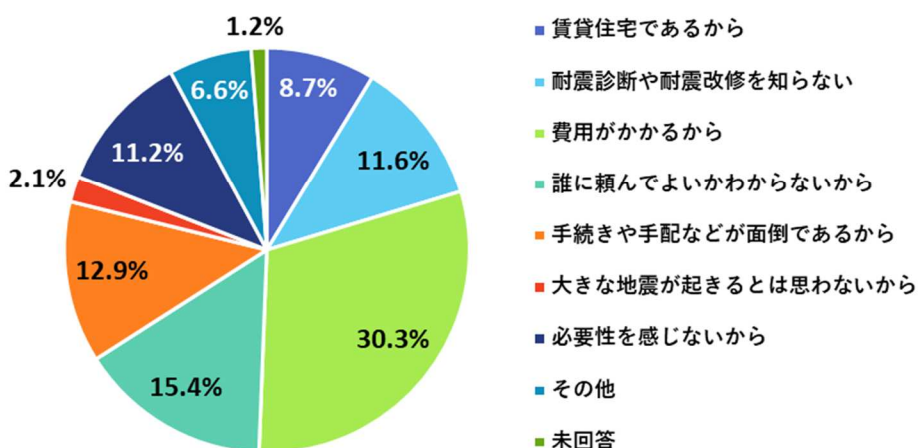
問16 自宅の耐震診断や耐震改修を行っていますか。
(1981年(昭和56年)6月以降の建物は、新耐震基準に適合しているため、「行っている」に回答してください。)



問 17 問 16 で「行っていない」と回答された方にお聞きします。耐震診断などを行っていない理由は何ですか。

	回答数	構成率
賃貸住宅であるから	21	8.7%
耐震診断や耐震改修を知らない	28	11.6%
費用がかかるから	73	30.3%
誰に頼んでよいかわからないから	37	15.4%
手続きや手配などが面倒であるから	31	12.9%
大きな地震が起きるとは思わないから	5	2.1%
必要性を感じないから	27	11.2%
その他	16	6.6%
未回答	3	1.2%
合計	241	100.0%

問17 問16で「行っていない」と回答された方にお聞きします。
耐震診断などを行っていない理由は何ですか。

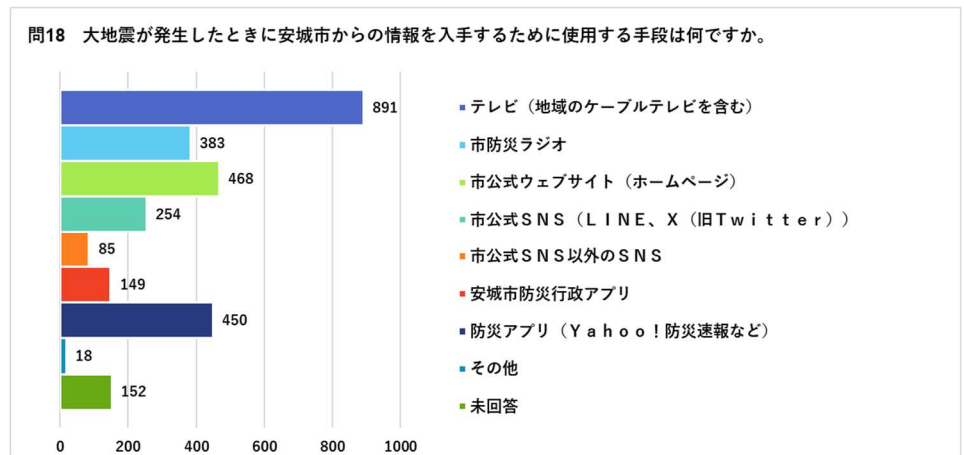


4 大地震発生時の行動について

問 18 大地震が発生したときに安城市からの情報を入手するために使用する手段は何ですか。(複数回答可)

	回答数	構成率※
テレビ（地域のケーブルテレビを含む）	891	60.9%
市防災ラジオ	383	26.2%
市公式ウェブサイト（ホームページ）	468	32.0%
市公式SNS（LINE、X（旧Twitter））	254	17.3%
市公式SNS以外のSNS	85	5.8%
安城市防災行政アプリ	149	10.2%
防災アプリ（Yahoo!防災速報など）	450	30.7%
その他	18	1.2%
未回答	152	10.4%
合計	2850	

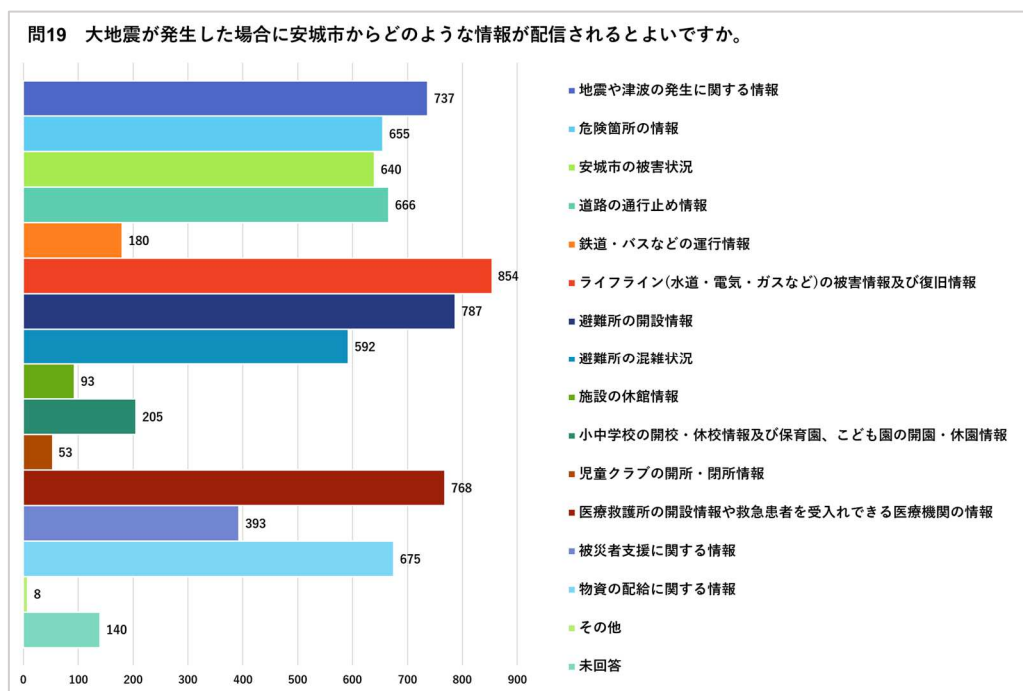
※構成率は総回収数1464件を100%とした割合



問 19 大地震が発生した場合に安城市からどのような情報が配信されるとよいですか。(複数回答可)

	回答数	構成率※
地震や津波の発生に関する情報	737	50.3%
危険箇所の情報	655	44.7%
安城市の被害状況	640	43.7%
道路の通行止め情報	666	45.5%
鉄道・バスなどの運行情報	180	12.3%
ライフライン(水道・電気・ガスなど)の被害情報及び復旧情報	854	58.3%
避難所の開設情報	787	53.8%
避難所の混雑状況	592	40.4%
施設の休館情報	93	6.4%
小中学校の開校・休校情報及び保育園、こども園の開園・休園情報	205	14.0%
児童クラブの開所・閉所情報	53	3.6%
医療救護所の開設情報や救急患者を受け入れできる医療機関の情報	768	52.5%
被災者支援に関する情報	393	26.8%
物資の配給に関する情報	675	46.1%
その他	8	0.5%
未回答	140	9.6%
合計	7446	

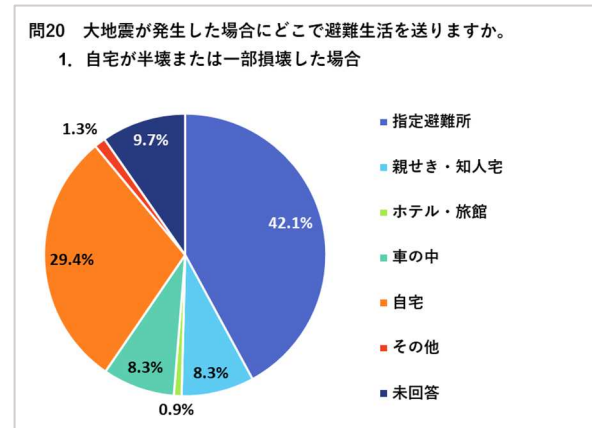
※構成率は総回収数1464件を100%とした割合



問 20 大地震が発生した場合にどこで避難生活を送りますか。(各質問につき回答は1つ)

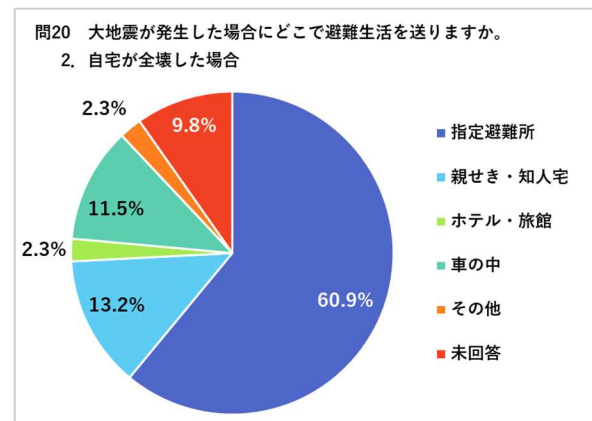
1 自宅が半壊または一部損壊した場合

	回答数	構成率
指定避難所	616	42.1%
親せき・知人宅	122	8.3%
ホテル・旅館	13	0.9%
車の中	121	8.3%
自宅	431	29.4%
その他	19	1.3%
未回答	142	9.7%
合計	1464	100.0%



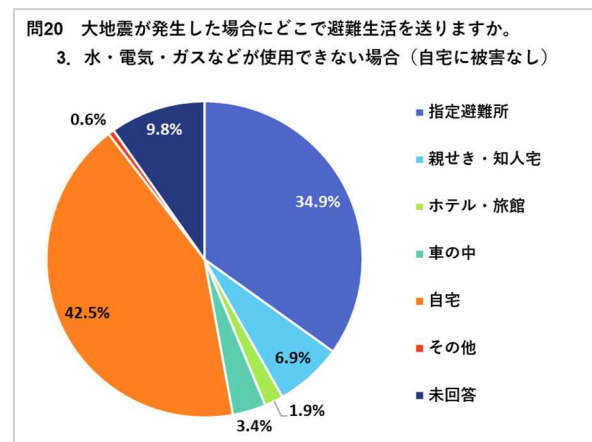
2 自宅が全壊した場合

	回答数	構成率
指定避難所	893	60.9%
親せき・知人宅	193	13.2%
ホテル・旅館	33	2.3%
車の中	169	11.5%
その他	33	2.3%
未回答	143	9.8%
合計	1464	100.0%



3 水・電気・ガスなどが使用できない場合（自宅に被害なし）

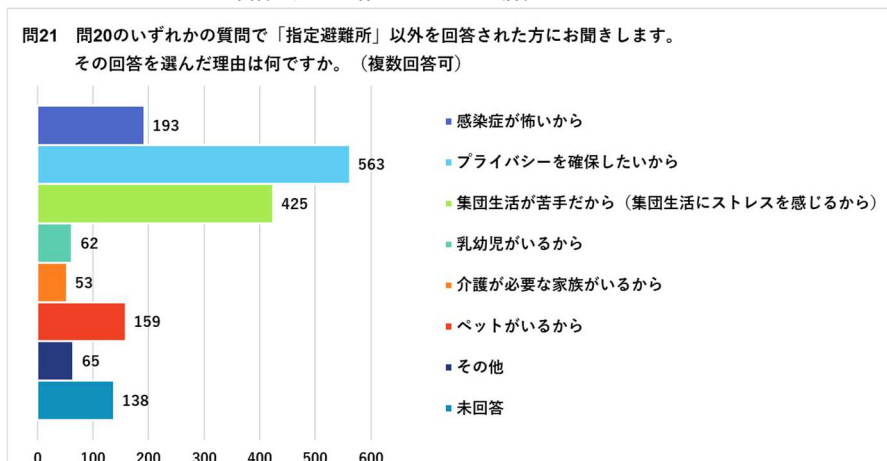
	回答数	構成率
指定避難所	511	34.9%
親せき・知人宅	101	6.9%
ホテル・旅館	28	1.9%
車の中	50	3.4%
自宅	622	42.5%
その他	9	0.6%
未回答	143	9.8%
合計	1464	100.0%



問 21 問 20 のいずれかの質問で「指定避難所」以外を回答された方にお聞きします。その回答を選んだ理由は何ですか。（複数回答可）

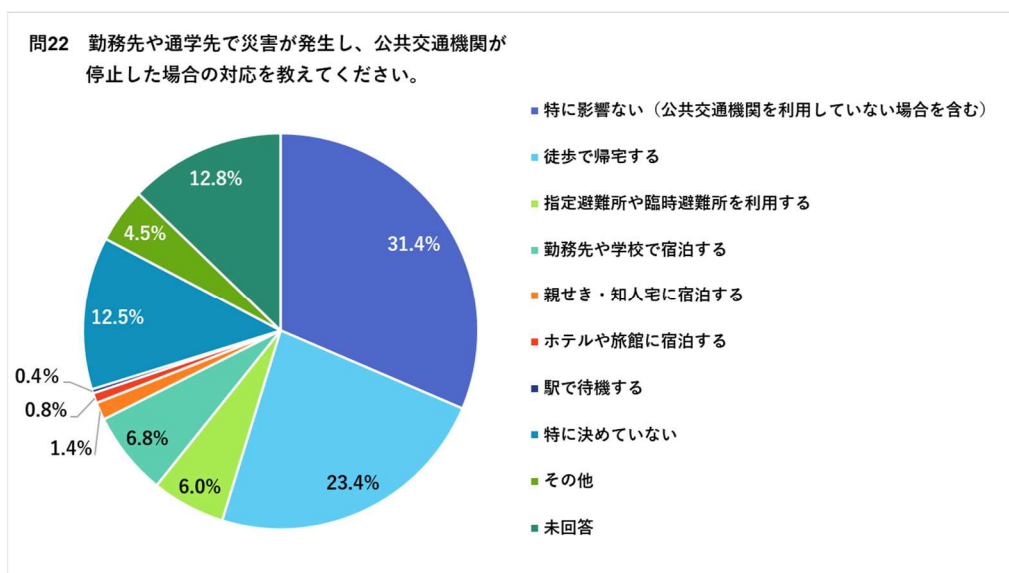
	回答数	構成率※
感染症が怖いから	193	20.1%
プライバシーを確保したいから	563	58.8%
集団生活が苦手だから（集団生活にストレスを感じるから）	425	44.4%
乳幼児がいるから	62	6.5%
介護が必要な家族がいるから	53	5.5%
ペットがいるから	159	16.6%
その他	65	6.8%
未回答	138	14.4%
合計	1658	

※構成率は問20のいずれかの質問で「指定避難所」以外を回答された958件を100%とした場合



問 22 勤務先や通学先で災害が発生し、公共交通機関が停止した場合の対応を教えてください。

	回答数	構成率
特に影響ない（公共交通機関を利用していない場合を含む）	460	31.4%
徒歩で帰宅する	342	23.4%
指定避難所や臨時避難所を利用する	88	6.0%
勤務先や学校で宿泊する	100	6.8%
親せき・知人宅に宿泊する	21	1.4%
ホテルや旅館に宿泊する	12	0.8%
駅で待機する	5	0.4%
特に決めていない	183	12.5%
その他	66	4.5%
未回答	187	12.8%
合計	1464	100.0%

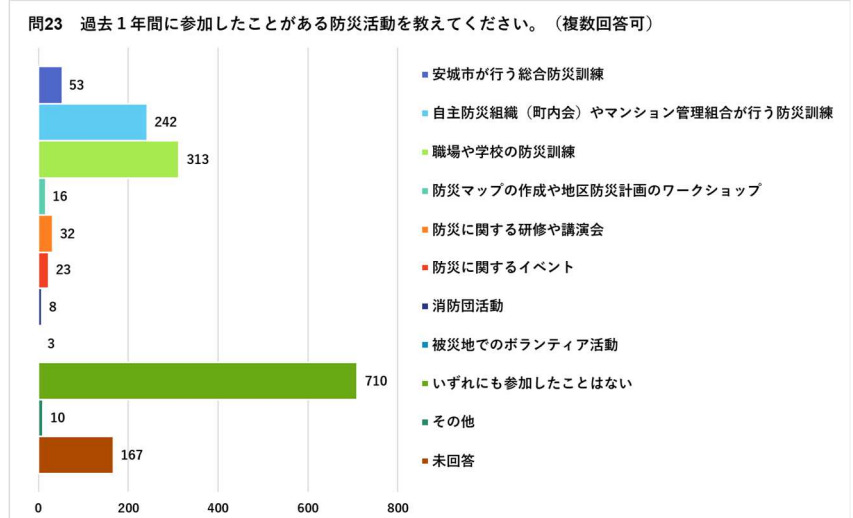


5 その他について

問 23 過去 1 年間に参加したことがある防災活動を教えてください。(複数回答可)

	回答数	構成率※
安城市が行う総合防災訓練	53	3.6%
自主防災組織（町内会）やマンション管理組合が行う防災訓練	242	16.5%
職場や学校の防災訓練	313	21.4%
防災マップの作成や地区防災計画のワークショップ	16	1.1%
防災に関する研修や講演会	32	2.2%
防災に関するイベント	23	1.6%
消防団活動	8	0.5%
被災地でのボランティア活動	3	0.2%
いずれにも参加したことはない	710	48.5%
その他	10	0.7%
未回答	167	11.4%
合計	1577	

※構成率は総回収数1464件を100%とした割合



問 24 安城市が実施する地震対策の制度や施策のうち、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	回答数	構成率※		回答数	構成率※
「安城市地震ハザードマップ」を見たことがある	987	67.4%	「ブロック塀等撤去費補助」「生垣等設置奨励補助金制度」を知っている	181	12.4%
「安城市徒歩帰宅支援マップ」を見たことがある	68	4.6%	ひとり暮らし高齢者や障害者世帯に対する「家具転倒防止器具取付事業」や「住宅用火災警報器の給付」を知っている	59	4.0%
「安城市総合防災訓練」を知っている	171	11.7%	「地震ブレーカー設置補助金制度」を知っている	46	3.1%
「防災ラジオ」を知っている	600	41.0%	「避難行動要支援者支援制度」を知っている	46	3.1%
「安城市防災行政アプリ」を知っている	129	8.8%	「安城市災害支援制度」を知っている	22	1.5%
「木造住宅の無料耐震診断」「木造住宅耐震改修費補助制度」を知っている	193	13.2%	大規模災害時には市内5カ所に医療救護所が設置されることを知っている	48	3.3%
「非木造住宅の耐震診断・改修設計・改修工事費補助制度」を知っている	44	3.0%	未回答	272	18.6%
「住宅の耐震改修に係る固定資産税の減額措置」を知っている	32	2.2%	合計	2898	

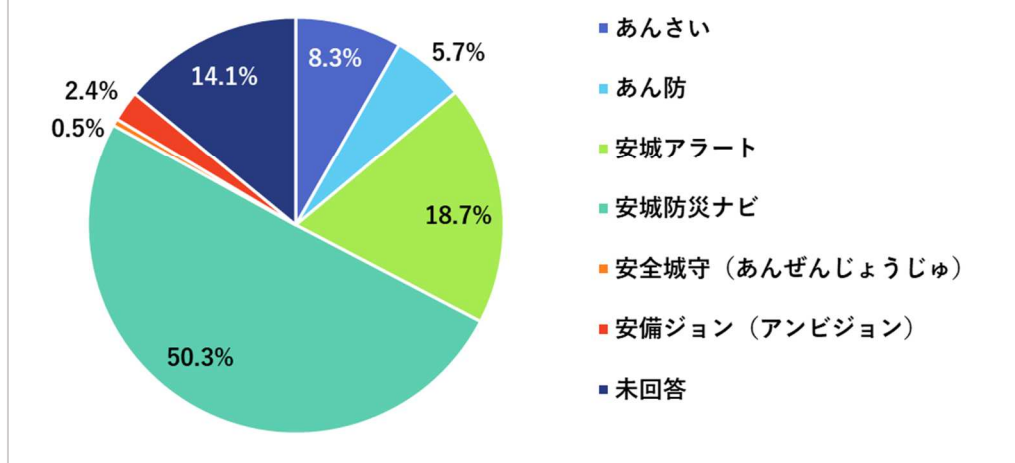
※構成率は総回収数1464件を100%とした割合



問 25 令和5年4月1日から運用を開始している市公式の防災アプリ「安城市防災行政アプリ」の愛称を投票により決定します。分かりやすく、親しみやすいものを選んでください。

	回答数	構成率
あんさい	121	8.3%
あん防	83	5.7%
安城アラート	274	18.7%
安城防災ナビ	737	50.3%
安全城守（あんぜんじょうじゅ）	8	0.5%
安備ジョン（アンビジョン）	35	2.4%
未回答	206	14.1%
合計	1464	100.0%

問25 市公式の防災アプリ「安城市防災行政アプリ」の愛称を投票により決定します。分かりやすく、親しみやすいものを選んでください。

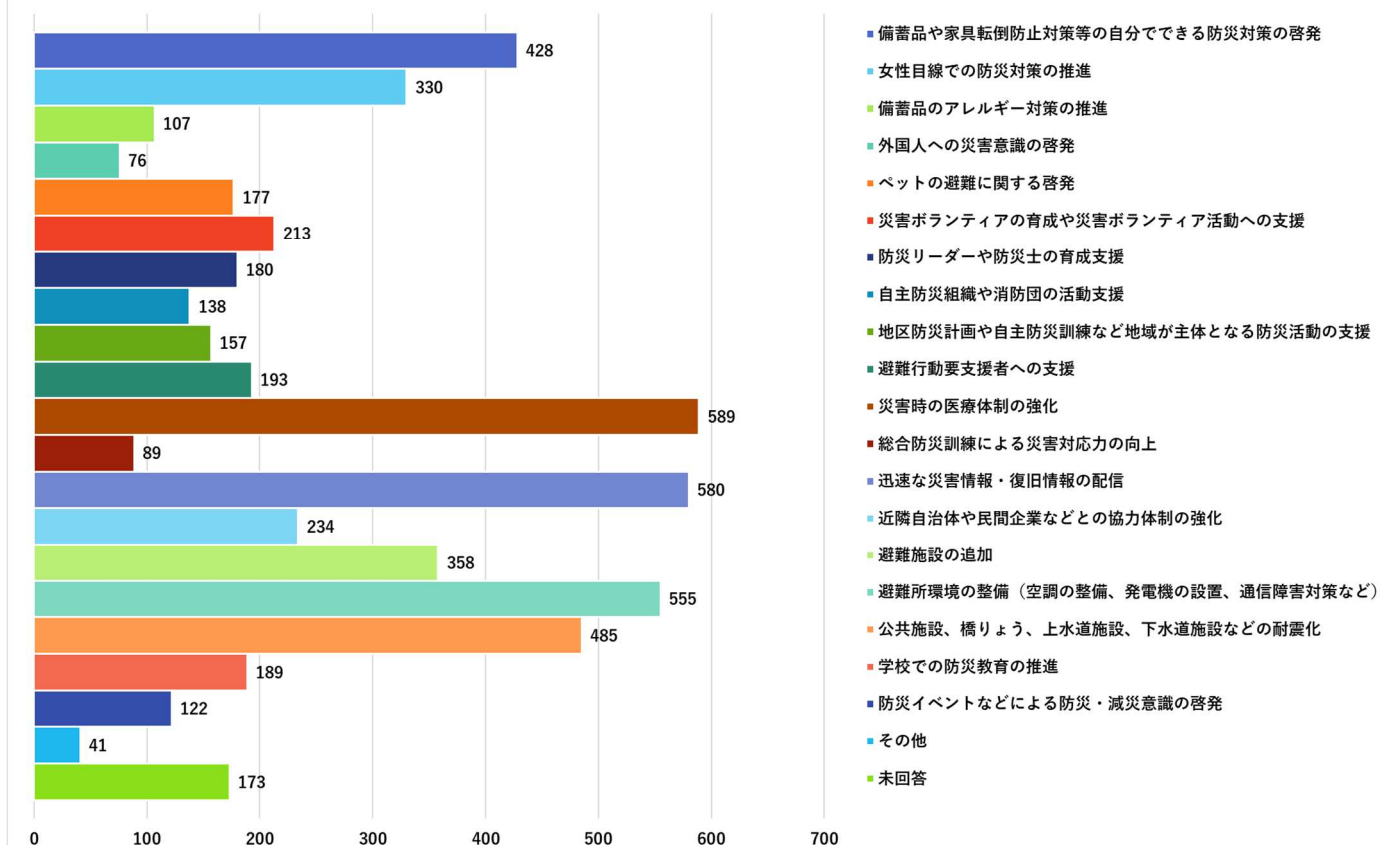


問 26 安城市の防災対策として、これからさらに力を入れて取り組んでほしいことは何ですか。
(複数回答可)

	回答数	構成率※
備蓄品や家具転倒防止対策等の自分でできる防災対策の啓発	428	29.2%
女性目線での防災対策の推進	330	22.5%
備蓄品のアレルギー対策の推進	107	7.3%
外国人への災害意識の啓発	76	5.2%
ペットの避難に関する啓発	177	12.1%
災害ボランティアの育成や災害ボランティア活動への支援	213	14.5%
防災リーダーや防災士の育成支援	180	12.3%
自主防災組織や消防団の活動支援	138	9.4%
地区防災計画や自主防災訓練など地域が主体となる防災活動の支援	157	10.7%
避難行動要支援者への支援	193	13.2%
災害時の医療体制の強化	589	40.2%
総合防災訓練による災害対応力の向上	89	6.1%
迅速な災害情報・復旧情報の配信	580	39.6%
近隣自治体や民間企業などとの協力体制の強化	234	16.0%
避難施設の追加	358	24.5%
避難所環境の整備（空調の整備、発電機の設置、通信障害対策など）	555	37.9%
公共施設、橋りょう、上水道施設、下水道施設などの耐震化	485	33.1%
学校での防災教育の推進	189	12.9%
防災イベントなどによる防災・減災意識の啓発	122	8.3%
その他	41	2.8%
未回答	173	11.8%
合計	5414	

※構成率は総回収数1464件を100%とした割合

問26 安城市の防災対策として、これからさらに力を入れて取り組んでほしいことは何ですか。（複数回答可）



問 27 防災・減災に関するご意見や、効果的と思われる取り組みがありましたら具体的にお書きください。
防災ラジオを購入したが、毎月の訓練放送だけで大雨で道路が通行できない場所など知らせる事が防災ではないと思います。
アプリや SNS など便利なものが増えたが、知らない人が多い。使えない人も多い。老人やスマホが使いこなせない人にも情報が届くように配慮願いたい。
防災の備えを定期宣伝 (4/1, 9/1)
みんなで協力
各家庭に携帯トイレの配布。 徒歩で行けるとところに備蓄等。
海外では避難住宅のレベルが日本と相当違うとテレビで知りました。 時間的・質的に日本は遅れているそうです。 プライバシーの守れる避難場所が早くできるといいですね。
各校区単位で災害対策支援活動が日常的に徹底できればより良い効果期待できると思われま
定期的避難訓練のようなことを町内で取り組んでほしい。 電気、水、ガスがストップした時、どうしたらいいのかわからない。 電池でスマホの充電ができるものがあればほしい。 災害時、どこへ行き、どうすればいいのか具体的に知りたい。
電気がストップしてしまっても、自家発電などでエアコンが使える施設を沢山作ってほしい。
既に取り組まれていたらすみません。 非常食・水や簡易トイレなどの配布があったら有難いなと思いました。
市による地震対策の各訪問調査をして支援対策を。
昭和 19 年 20 年発生から 75 年以上前の出来事～現在まで実体のない生活化、危機感がない。 もっと身近に感じる、身近に対策すべき事柄を、くどいくらいに、発進し、徹底を図る。
スーパーや家電量販店等と連携し、防災減災の対策アピール等 人々が活用する場所での販促推進の企画啓発や防災イベント等。
安城市は一人あたり最低 3 日分の備蓄をするようお願いしていると記載されているが、集合住宅では家族 3 日分の備蓄スペースがないです。 市で備蓄スペースを確保したり、各家庭の住んでいる地区にスペースを確保してもらえると良い。 また、お金を払えば、備蓄品を選択できたり子供の年齢、性別によって必要なものが変化すると思うので、それは各家庭が責任をもって選択するものを変更するなど。 使わなかったものは各家庭が買い取って消費する。備蓄スペースには各家庭が、災害時に自分たちで行く。
防災グッズの販売や宣伝等、年に一度でも良いので駅前の公園等でイベント活動してもらえたら気軽に家族で参加できて購入もできる。
地震に強いインフラの整備&メンテナンス (自己(マイセルフ)と行政主体のメインアイテム深ぼりと実行計画。
ごみ処理に関する施策と同等以上に防災減災に関する施策が市民に伝わる工夫をしてほしい。 もっともっと防災減災の施策を目に見えるようにアピールしてほしい、

<p>災害が発生した時、一番大事なのは、冷静に行動することだと思います。</p> <p>従いまして、普段から、市民の皆様へ「災害時には焦らないで」みたいな言葉、モットーを周知徹底させることが重要と思われます。</p>
<p>(地震時にも起こる) 水害対策のため、事前に分かる場合は車を高い場所へ移動させたい。</p> <p>ショッピングモール、パチンコ屋、アンフォーレ等の立体駐車場へ事前移動させてもらえるようにして、どの場所は OK どんな時に OK なのか地図で配ってほしい。(社交の高い車用に ZENT のような立体駐車場も必要。)</p>
<p>町内で防災訓練を実施した時、今年から町内の住民リストを使い実施しました。来た人の名前をチェックするだけで良い。これは今後本当に災害が発生し、避難所へ来られた方の確認リストとして使えます。</p>
<p>支援してくださる方々の安全等の確保が気になります。</p>
<p>いつどこで起きるか分からない災害。</p> <p>誰がどの場所で被災しても安心できる環境整備が必要かと思われます。</p> <p>家族・親せき、友人等の安否確認、水、食料の保管場所の情報が市民 1 人 1 人にきちんと伝達されるようにするのも大切かと思えます。</p> <p>1 人暮らしの高齢者や、体の不自由な方にもこうなった場合はこう。というしっかりとしたサポートも今一度確認が必要だと思います。</p>
<p>私は現在は健康です。しかし 70 代であり、いつ寝たきりになるか分かりません。5 年後、10 年後は高齢者障害者はさらに増えると思います。</p> <p>それを念頭に置いた具体的設備、例えば避難所での身障者用トイレの設置などが必要だと思います。</p>
<p>震災に直面した経験がない為、防災や避難対策の意識が薄い。</p> <p>三河大震災の放映をキャッチ (ケーブル TV) で流し、"命を守る"意識を高めるようにしたい。</p>
<p>日頃から性別・年齢・町内会への加入・未加入に関係なく地域が一体となって、災害についての正しい理解と、その対応の仕方について防災活動をするべきと思われる。</p>
<p>東日本大震災の時に関東に住んでいましたが、一番困ったことはライフラインと食料の確保でした。</p> <p>その為、地震に強いライフラインの強化や非常用電源の確保、食料確保策の構築を希望します。</p> <p>近隣の自治体も同様に被災する為、近隣を当てにしない、若しくは近隣の自治体と協力して外部 (遠方) から物資を調達する方法が構築できればと思います。(勿論、遠方が被災した際にこちらから支援することも重要だと思っています。)</p>
<p>避難先について、徒歩移動可能な場所の増設を望みます。公共施設のみならず民間企業の協力を得て。</p>
<p>1 年、365 日いつ、なんどき、大災害が発生したとしても最小限の被害で済ますように、福島の原因事故を教訓に、最初から、一部の学者なりが提案した対策をとっていけば世界を巻き込んだ悪い情勢にはならなかった。よってどんな小さな対策事案も検討して欲しい。</p>
<p>防災に関して子供の頃から学校でイベントなどして推進してほしい。</p>
<p>特に社会インフラ・水・電気・食料等が共同で秩序が保たれた形で情報復帰の方法が出来ることは望みます。リーダーが必要。</p>
<p>市から見た、各家庭で準備しておいてほしい防災グッズ一覧リストを「広報あんじょう」の別冊として配布してほしい！</p> <p>※東日本や阪神でえた、被災者の声を反映したものを。</p>
<p>食料・水など備蓄しているが年数がたって使えないものなど、(ラップも張り付いてしまって) なかなか普段、目を通すことができない。どうしたらよいものか？</p> <p>防災リーダーの資格を持っている人達が高齢化しているのでは？ (何十年もやっている人)</p>

<p>私の住む町内会では防災に取り組む姿勢がすごいと思います。 災害時の車中泊を体験できる防災訓練があります。私も参加してみようと思います。</p>
<p>日頃からの地域の関係作りが必要ですね。町内会をやめる世帯が増えているようです。全国に目をやり、どこか成功している例はないでしょうか。</p>
<p>想定を上回るような事が多くなっているの、どうしたらいいのかを考えることが難しくなっていると思います。高齢の家族やペットがいるので、自宅以外では居られないと思います。 もう、我が家は60歳92歳と犬が15歳なので助けて頂かなくてもいいです。若い人を助けてあげてください。</p>
<p>「トントントンカラリト トナリグミ」(昭和20年より前)のとなり組は全壊状態。 顔を合わせる機会は町内一斉清掃の年2回のみ、さみしくなさない。 協力なんてことはとてもムリ。顔さえ知らないのだから…。 さみしい地域社会です。</p>
<p>安城市民全世帯が町内会に入り(マンション含む)助け合いが多くの人に参加できる様に。 現状では町内会に入らない方がボランティアも金銭的にも参加せず楽である。ゴミステーションの整理管理児童公園の清掃道路草取り独居老人及家庭訪問そのような事が災害時には市の施設使用配布も町内会が前面になる。</p>
<p>非常持ち出し品の斡旋</p>
<p>上記にも書きましたが、避難所での生活が不安です。快適に避難所で生活できる環境を整えて欲しいです。トイレの衛生面。お風呂。空調関係。安心した耐震。車の安全確保。宜しくお願い致します。</p>
<p>避難所でのルールやマナーの広報</p>
<p>豪雨が多いので、排水路。河川の整備をしてほしい。 避難所生活を仮に行った場合の1日の様子を表すようなもの。 →どうなっているかも分からない為、不安で行きたくないし、避難所に何があってどう過ごすことになるのか想像できないから。子どもを連れていくにしてもハードルが高い。 「避難所暮らし」についてのパンフレットなどがあるとありがたいです。</p>
<p>ペットの避難について避難した人で話し合ってくださいみたいなことは大変困ります。 1Fと2Fで分ける。右と左で分けるなど、市としてきちんとした対応を早急にしてください。避難できないとわかっているので、災害への不安しかありません。市民をきちんと守ってください。よろしく申し上げます。</p>
<p>災害時・1日3リットルの水・食料3日分・トイレのできる環境、最低限のことが把握できていませんでした。お金は10,000円札より1,000円札、100円玉、10円玉の方がいいそうです。 各自が自分達の事は自分達で守り、工夫する自覚を持つ。そして助け合う。防災ラジオをもっと活用、発信すべきと思う。</p>
<p>指定避難所が少なく、実際に避難生活を送れるか気になっております。 病人を抱えており、移動もままならない可能性もある為、不安は大きいです。 ご苦労様です。安全安心な安城をお願いします。</p>
<p>持病があり毎日朝夜服薬しているが、自宅が全壊して手持ちの薬が足りなくなるようなことが起きないか心配です。どのような対処をして頂けるのかいまいちわかりません。</p>
<p>ラジオ連絡の定義</p>

<p>防災グッズや備蓄品を購入できる店舗の紹介や店舗での備蓄品の展示（市が一人分として推奨する量）など、民間企業を巻き込んだ啓発。</p>
<p>ライフラインが機能できない時、自宅で発電できる機器を（太陽光・EV自動車等）の購入において市が補助金を拡大してほしい。</p>
<p>災害時の情報提供について、しっかりとしたものを作成展開下さい。</p>
<p>安城は災害が少ないので、防災意識が低い市民が多いと思います。私もそのうちの一人です。 実際に地震が発生したときに、どういう行動をとるべきか、どこに避難するのかなど、このアンケートを機に考えさせられました。 過度に不安を煽ることは良くないですが、防災意識を高めるのに市民が防災に関して考える機会を多く設ける必要があると思いました。</p>
<p>外国人の方が増えているように思いますが、現在での生活においても住人との間で問題が多く改善をお願いしたい所ではありますので災害が発生した時にこのような事で問題悪化しないように対策を考えて頂きたいです。→外国人の方が多いい地区など特に対策が必要かと思ひます。 今回のアンケートで制度など知らないことが多く自分でもびっくりしました。広報などで何度も繰り返して紹介などする事も必要かと思ひました。SNSに関しては年配の方には無理かと思ひますので、それにかわるもので検討した方が良くと思ひます。 ペットが居る家庭についても対策を検討してほしいです。（名古屋市などはイベントなどで飼主に対して指導してくれました。）</p>
<p>安城市民が同じ情報を得られるように防災ラジオの無料配布</p>
<p>子供の頃三河地震を体験しました。稲わらの小屋で数日間生活しました。 現在では稲わらもありませんので、トタン屋根の車庫の建築の施策を推進してください。</p>
<p>普段から災害に備えたり、カーマやヨーカドーなどコーナーを設けてもらい、家に1つは防災グッズをそろえるような意識づけを行ってほしい。 手軽に始められる防災アプリなどで市民の情報交換ができるような取りまとめを願ひたいです。</p>
<p>防災ラジオを毎月1日P4時に流されている訓練はありがたいと思ひていますが、先日突然午前中前触れもなくラジオが鳴ったので慌ててしまいました。（本当はこれが良いのでしょうか）実際はびっくりして驚いてしまいました。しばらく動悸が収まりませんでした。老人には酷でした。 もしよかったら「これは訓練です」と報告してください。</p>
<p>賃貸でも家具の固定が必ず出来る様にできれば義務化して大家さんの協力を得てほしい。 ペット同行避難の訓練と夏・冬のサバイバル訓練、応急処置の練習など出来るといい（予め覚えておいた方が災害時に自ら行動できるはず）</p>
<p>災害時に過去実際にあったトラブルも情報として共有するとか、そういう事も起きてしまうんだと省みて学んでおくことが大事だと思ひう。 震災で避難所生活をしている時に物を盗まれたり、少女を襲う事件などをニュースで見て、とても避難所での生活はできないしと感じた。</p>

<p>防災・減災のイベントを複数回開き、防災グッズの販売や消火器使用の体験、震度7の揺れを体験などをを行い、防災・減災について意識づけを行うのはどうだろうか？参加者には安城市内で使用できるクーポンの配布など参加意欲を高める。イベントの費用については行政とトヨタ系の大手企業、希望する企業から集め、お金を出してくれた所には市として表敬を行う。個人的にはお金を集められる可能性も高く、場所もある。（総合公園、デンパーク、堀内公園）</p> <p>あとは行政としてやる気の問題ではないかと考えている。宜しくお願い致します。</p> <p>フォルツァ安城市！！</p> <p>HALA 安城市！！</p>
<p>以前北部で防災訓練に参加した時、私家族で近くのアパートで暮らしていたが、無視されたことがあり、二度と協力しないと思った。</p> <p>アンケートを取ったって、本気で考えているのか。</p> <p>アパートの名前すら呼んでくれなかった。役員や係の人を恨んでいる。</p>
<p>水田貯留施設の増設</p>
<p>市公式の防災アプリが開始していることを知りませんでした。</p> <p>広報に載っていたのを見落とししたのでしょうか…？</p> <p>実際に災害が起こった時に情報が得られないことは不安なので、防災アプリの周知が必要かなと思います。</p>
<p>町内会に地震の際の備蓄品がありますが、費用は町内会費で負担していると聞きました。最近うちの近所はほとんどの人が町内会に入らないのか、若しくは組に入っていない。その人たちが町内会へ避難してきた場合、やはり差し上げなければいけないのですか？</p> <p>町の運営もして、会費も出している人とそうでない人との区別をしていただかないとやっているこちらが馬鹿らしくなります。</p> <p>市としてはその辺を明確にしていきたいです。</p>
<p>他市では中学生が総合の授業の一環として市の防災について学んでいるそうです。</p> <p>安城市でも取り組み、中高生が活躍してくれるとありがたいと思います。</p>
<p>アンケートに答えてみて、改めて自分の知識の無さや準備不足を感じました。</p> <p>防災に対してもう少し積極的に取り組んでいこうと実感しました。</p>
<p>このアンケートを全世帯で実施すれば防災意識が高まるのではないかと思います。</p>
<p>月1回は地震や火災に関する勉強や体験など開催してほしいです。</p> <p>もしくは詳しいパンフレット等を全家庭に配布してほしい。</p> <p>安城市がせっかく対策してくださってる制度などほとんど知らなかったのです。</p> <p>こちらこそありがとうございます。</p>
<p>他県から来たので何もわかりません。これから皆さんからおしえてもらいたいと思います。</p> <p>防災の訓練を一度もやったことがないので防災のイベントに行って勉強をしたいと思います。</p>
<p>備蓄食料・水が全然足りていないので、1週間分以上の量を準備していこうと思います。ローリングストックし、補充をきちんとしていきたいです。</p> <p>今回市公式の防災アプリの事を初めて知れたので、取り入れたいと思います。</p>
<p>他地域に比べ、自然災害の少ない安城市。</p> <p>人ごとと思わず自分ごととして考え、取り組める防災活動が必要だと改めて感じました。</p>

<p>道路側（歩道）の雑草がひどすぎます。 雨が降った時歩けないところが多すぎです。 何とかして～</p>
<p>備蓄品をどこに何を置くのがよいのかわからないため教えてほしいです。</p>
<p>口すっぱくなるまで対策訓練、備蓄品等を指導してください。 災害訓練が何回か参加できる様計画してください（回数を増やす）</p>
<p>防災マニュアルを配布してもらえると、興味を持つきっかけとなると思う。 特に、最低限用意する物のチェックリストをもらえると、何を準備したらいいか参考になるのでありがたいです。</p>
<p>子どもたちにもわかるように映像や本で防災に関して知ってほしい。</p>
<p>黄色のタオルを玄関先に出す事はとても良いですが、四季によって用意するものは違います。それを教えていただきたいです。</p>
<p>問 10 であった携帯トイレを市から配布してほしい。 すると各家庭でも意識が高まり各自少しでも備蓄品を準備しようとする気持ちが高まるのでは…。</p>
<p>安城市が多くの地震対策の制度・施策を実施しているにもかかわらず、それを知る機会がなかったです。</p>
<p>防災訓練等に参加したら景品やポイント付与すると参加率が上がるかも</p>
<p>非常持ち出し袋の推奨していただきたいです。 何をどれだけ持っていくかわかりにくく…。最低でも必要なグッズを言葉と写真で表せると、備えることが安易になるのでは…。広報などに掲載して…など。 市販の持ち出し袋はかなりの重量です。</p>
<p>隣に声掛けをする</p>
<p>日頃の生活の中で、近所の人々と笑顔で挨拶できる信頼関係を作って、いざという時は積極的に互いに協力し合えるかわかり方をするのが少しは心強いかと思います。</p>
<p>防災アプリと併用して、防災読本を作成してほしい。 家族のみんなが見やすい場所に置いておけるので。 このアンケート中にも知ってない事が多数あったので。（特に制度） ウェブサイトは便利ですがなかなか普段は防災について見ないので。</p>
<p>防災アプリを QR コードよりダウンロードしました。</p>
<p>避難行動要支援者支援制度は知っているが、実際起きた時支援にまわれるか分からない。 そのくらい高齢化が進行し、一人で動けない人が多い。 いつも自分ならどのように避難するか、火災はどうするか考えないと…。</p>
<p>行政の支援</p>
<p>非常持ち出し品を各一軒ずつに配ってほしい。</p>
<p>プライバシーを守れること。（自宅対策等）</p>
<p>安城市は病院が少ないと思うので、その中で受入拒否の対応改善などを考えて欲しい。例えば、コロナの時にかかりつけじゃないと拒否されました。 自分がかかりつけ院が無くて本当に困りました。</p>
<p>各地区で勉強会を開いてほしい！！ 学区という広い範囲ではなくもう少し細かく参加できるように…。</p>

南海トラフや東海地震による被害が少ないと思われる日本海側の市町村と相互に助け合えるように友好関係を結ぶ。
①備蓄品を外で保管するための屋外物購入の為の補助金制度（家の倒壊を考えると屋外にある方が使用・活用できるのではないかな） ②町内会単位の防災マップの作成（現在のでは少し大まかな感じがするので…。）
先日近所で火災があり、となりの家の連絡先とか知らないと思った。地域の連絡網とかあると、防災だけでなく、安全にもつながるのではないかなと思った。
正直言って避難所がとても遠く、行く方が危険です。 周辺に公共の施設がない場合もあるので、一般企業で緊急時の避難所登録してくれる企業を募るとか、避難所の数を増やして密集化しない方がプライバシー保護の面からも過ごしやすい。
市役所の方には十分頑張ってもらっていると思います。 具体的な案が無くて申し訳ないですが、啓発活動に取り組んで頂けると市民として支えになるかと思われれます。
行政だけが一人歩き 市民はわからない点が多くあるように思えたが？
以前（平成 31 年くらい）安城歴史博物館で「安城の今昔、火消しまいる」という企画展があり、知らないことばかりでびっくりしました。 企画展で防災に関する資料や写真、被災者の声など展示していただけると身近に感じてわかりやすいと思います。
真水に作り変える道具・機械
高齢につき、災害のあった場合、指示に従って避難したいと思います。
各地域の公民館も避難場所になっていますが、桜井公民館は入り口に対して施設が狭いように思います。駐車スペースも少ない為、多くの人が避難できないのではと思っております。
防災訓練等を日曜日や平日に分けて年 2,3 回を目安に実施してはどうか。 参加したくても曜日によってできない人がいます。（サービス業等） 多数ではなく全員が一年に参加できる環境が必要と思います。
防災ラジオを購入して 5 年以上経過したが防災ラジオの災害情報は 1 回も無い！持ってて意味ありますか？防災ラジオによる情報発信をもっとやって下さい。 台風や大雨・地震等を！！電源が入っているけど何もしゃべらないけど意味ないんじゃないの？ 運動場や公園（体育館・公民館）に個別テントを設置するよう予算を計上して積み立ててください。
訓練で返事のない家庭の確認がない
1 年に 1 回防災グッズを販売
災害があつてからでは遅いけど、起こらないとわからないことの方がたくさんあると思う。でも思いつく限り防災や減災、備蓄などに生かしていけたら良いなと思う。
・小中学校では防災教育をしているが、高校、大学では防災教育（安城市の地震の取り組み）を推進していないように思うため、啓発してほしい。※若い人の力が必要となる為 ・まだ側溝が整備されていない為、小学生・老人など（通学路）危険なため少しずつでいいので取り組んでほしい。
停電するとスマホ、TV とか情報源が無くなります。臨時の充電所の設置は可能ですか
医療救護所の事を知らない。 5 ヶ所を広報等にて明記できないものか？
安城市の防災体制の現状と、今後の体制強化の進め方に関する説明会の実施。

<p>ペット同伴可の避難所を設置してほしい。</p> <p>その際、ペットはキャリーに入れたうえで避難所の外に置くのではなく、飼い主と一緒に室内にいられるようにしてほしい。</p> <p>障がい者の避難用に、学校の教室を使わせてほしい（個室として）</p>
<p>横山町内会は防災訓練などしっかりやって下さるので、意識も高まり安心しています。</p> <p>問 24 の制度や施策は名前は聞いたことがあるけど、よく分からないものばかりでした。広報で YES/NO チャートにして自分に必要な施策が知れたらいいなと思いました。</p>
<p>ライフライン（水道・電気・ガス）の使用不可時に早期の復旧体制が必要だと思います。</p>
<p>備蓄品や防災用品は、結構値段の高いものが多いです。</p> <p>普通の商品を購入するみたいに気軽に量を変えればいいなと思います。</p> <p>キャンプブームを利用して、キャンプ用品をそろえて災害に備えるのもありかなと思います。</p>
<p>災害時は、身近な地域の力が重要と思います。</p> <p>防災の日だけでなく町内において意識を高めていったら良いと思います。</p>
<p>過去の災害（東日本大震災）で、被災初日に苦労したこと、何の被災グッズが必要になったのか、コレがあればいざという時に便利と、イラストやカラー印刷で分かりやすく表現して頂けると確認しやすい。</p>
<p>市営住宅敷地内・周辺等、一時避難場所となるスペースの草刈り、除草剤の補助。</p>
<p>防災備蓄セットみたいな奴を年 1 回など定期的に販売してくれると嬉しい。</p> <p>（市販のものが沢山あるが、どれがいいのかなどよく分からない）</p> <p>行政・自治体が販売してくれると安心。</p>
<p>賃貸住宅の為、備蓄・防災グッズを置くスペースがあまりありません。</p> <p>賃貸住まいの人でも、十分に防災対策が出来る様にしてほしいです。</p>
<p>高層マンションが多く落下物、倒壊が怖い。</p> <p>消火器の設置を市内各地に増やしてほしい。</p> <p>食料・飲料水などの備蓄品を保管する場所を設けてほしい（家が狭く置き場がない）</p>
<p>防災活動への市民からの理解を得ること。</p> <p>防災への準備をとっつきやすく（取りかかりやすく）進めること。</p>
<p>防災訓練が途中で入ることが告知されている公共施設でのコンサート等のイベントや学校での授業参観。人が集まっている中で避難所になり得る場所での防災、避難訓練があれば、よりリアルで自分ごととして訓練を体験できると思います。</p>
<p>障がい者等に対する防災対策と支援対策の強化</p>
<p>情報不足をなくすこと</p>
<p>問 25 愛称不要 かえってわからなくなる</p> <p>無駄になる投資はやらず防災資金として積み立てるべき。</p> <p>市及び県が行っていることに無駄が多くみられる。</p> <p>各サービスや各人への税適切？また、コストパフォーマンスが分かる様になっている？ 例：下水道代のあり方（見直すべき）</p>
<p>問 24 について、全く知らなかったです。</p> <p>もう少し関心を持たなければと思いましたが、市からの情報発信などの工夫（ウェブサイトだけでなく）をしてほしいと思います。</p>

このアンケートを通して、自宅の防災対策の少なさを実感し、もっと積極的にしていかなないと気づきました。
なので、このようなアンケートも防災対策の1つになっているなと思いました。
これからも安城市が行う防災への取り組み応援しています。頑張ってください！

LINEなどで配信
動画で分かりやすく配信

ずっと、災害が起これ避難所で生活を送る女性たちは生理になった時どのようにして過ごしているのか？気になっていました。また、離乳していない赤ちゃんはミルクなどあるのか？女性と乳幼児の必要なものなど詳しく防災アプリで紹介してください。お願いします。

参考（前回市民アンケート）

安城市 地震対策に関する市民アンケート結果

■実施概要

実施期間	平成 28 年 2 月 8 日～2 月 29 日
対象	安城市内在住の満 18 歳以上。無作為抽出
配布数	2,000 件
配布・回収方法	郵送
回収数	945 件 （回収率：47.3%）

■集計結果

1 大地震への関心と不安について

問 1 南海トラフ地震について、関心がありますか。

	回答数	構成率
(1)非常に関心がある	459	48.6%
(2)多少関心がある	408	43.2%
(3)あまり関心がない	53	5.6%
(4)全く関心がない	7	0.7%
無回答	18	1.9%
合計	945	100.0%

問 2 大地震が起きた場合、あなたが特に気になることは何ですか？（複数回答可）

n=945	回答数	構成率
(1)自宅の倒壊や損壊	706	74.7%
(2)近隣の建物の倒壊	70	7.4%
(3)敷地の液状化や地盤沈下	135	14.3%
(4)堤防沈下による浸水	25	2.6%
(5)自宅での火災発生	332	35.1%
(6)近隣の火災の延焼	147	15.6%
(7)電気、ガス、水道、通信などの停止	572	60.5%
(8)道路や鉄道の被害による交通の混乱	99	10.5%
(9)家族の安否確認の可否	549	58.1%
(10)情報の混乱	114	12.1%
(11)家具の転倒による危険	136	14.4%
(12)ブロック塀の倒壊や落下物による危険	31	3.3%
(13)食料や飲料水、日用品の確保	502	53.1%
(14)医療体制の不備や混乱	160	16.9%
(15)避難場所の確保や避難場所への移動	122	12.9%
(16)災害弱者の支援など助け合いの有無	75	7.9%
(17)治安の低下	57	6.0%
(18)避難生活に関する不安	248	26.2%
(19)トイレや下水道が使えなくなる事による 公衆衛生の悪化	454	48.0%
(20)震災廃棄物(ごみ、瓦礫)の処理	34	3.6%
(21)その他	16	1.7%
(22)特に心配なことはない	3	0.3%
合計	4587	485.4%

問3 三河地震、昭和東南海地震など、安城市周辺で起こった大地震をご存じですか？

	回答数	構成率
(1)過去の大地震を経験した	57	6.0%
(2)よく知っている	37	3.9%
(3)多少は知っている	305	32.3%
(4)あまり知らない	295	31.2%
(5)まったく知らない	244	25.8%
無回答	7	0.7%
合計	945	100.0%

問4 南海トラフ巨大地震が起きたときの安城市の想定震度や被害想定をご存じですか？

	回答数	構成率
(1)よく知っている	47	5.0%
(2)多少は知っている	308	32.6%
(3)あまり知らない	376	39.8%
(4)まったく知らない	206	21.8%
無回答	8	0.8%
合計	945	100.0%

2 地震への備えについて

問5 地震への備えとして日頃から行っていることは何ですか？また、行っていない場合は、今後行う予定がありますか？（各回答は1つ）

	行っている	行う予定	出来れば行いたい	行わない	分からない	無回答	合計
(1)家族との安否確認方法の取り決め	245	254	337	21	25	63	945
(2)家族との集合場所の取り決め	365	195	257	35	24	69	945
(3)学校や園からの子どもの引取りの取り決め	170	97	133	182	128	235	945
(4)避難場所や避難経路の確認	333	172	290	33	40	77	945
(5)非常持ち出し品の準備	312	218	319	21	16	59	945
(6)食料や飲料水の備蓄	414	185	261	15	14	56	945
(7)ラジオの準備	516	115	199	38	22	55	945
(8)風呂の水はり	196	83	277	239	77	73	945
(9)火気器具まわりの整理	344	104	301	67	48	81	945
(10)消火器の設置	398	72	235	122	43	75	945
(11)感震ブレーカーの設置	115	61	314	181	183	91	945
(12)家具等の転倒防止のための固定	283	127	367	71	31	66	945
(13)ガラスの飛散防止	85	79	462	161	77	81	945
(14)ブロック塀、看板、樹木等の点検	139	65	274	238	123	106	945
(15)自宅の耐震診断や耐震改修の実施	424	31	160	156	90	84	945
(16)地震保険等への加入	515	35	125	120	81	69	945
(17)地震や防災に関する情報のチェック	256	151	353	30	67	88	945

構成率	行っている	行う予定	出来れば行いたい	行わない	分からない	無回答	合計
(1)家族との安否確認方法の取り決め	25.9%	26.9%	35.7%	2.2%	2.6%	6.7%	100.0%
(2)家族との集合場所の取り決め	38.6%	20.6%	27.2%	3.7%	2.5%	7.3%	100.0%
(3)学校や園からの子どもの引取りの取り決め	18.0%	10.3%	14.1%	19.3%	13.5%	24.9%	100.0%
(4)避難場所や避難経路の確認	35.2%	18.2%	30.7%	3.5%	4.2%	8.1%	100.0%
(5)非常持ち出し品の準備	33.0%	23.1%	33.8%	2.2%	1.7%	6.2%	100.0%
(6)食料や飲料水の備蓄	43.8%	19.6%	27.6%	1.6%	1.5%	5.9%	100.0%
(7)ラジオの準備	54.6%	12.2%	21.1%	4.0%	2.3%	5.8%	100.0%
(8)風呂の水はり	20.7%	8.8%	29.3%	25.3%	8.1%	7.7%	100.0%
(9)火気器具まわりの整理	36.4%	11.0%	31.9%	7.1%	5.1%	8.6%	100.0%
(10)消火器の設置	42.1%	7.6%	24.9%	12.9%	4.6%	7.9%	100.0%
(11)感震ブレーカーの設置	12.2%	6.5%	33.2%	19.2%	19.4%	9.6%	100.0%
(12)家具等の転倒防止のための固定	29.9%	13.4%	38.8%	7.5%	3.3%	7.0%	100.0%
(13)ガラスの飛散防止	9.0%	8.4%	48.9%	17.0%	8.1%	8.6%	100.0%
(14)ブロック塀、看板、樹木等の点検	14.7%	6.9%	29.0%	25.2%	13.0%	11.2%	100.0%
(15)自宅の耐震診断や耐震改修の実施(※)	44.9%	3.3%	16.9%	16.5%	9.5%	8.9%	100.0%
(16)地震保険等への加入	54.5%	3.7%	13.2%	12.7%	8.6%	7.3%	100.0%
(17)地震や防災に関する情報のチェック	27.1%	16.0%	37.4%	3.2%	7.1%	9.3%	100.0%

問6 問5「12) 家具等の転倒防止のための固定」で「行っていない(2~4のいずれか)」と回答された方にお聞きします。これらの対策を行っていない、または行わない主な理由は何ですか？(回答は3つまで)

n=631	回答数	構成率
(1)手間がかかる(面倒だ)から	248	39.3%
(2)固定の方法が分からない	98	15.5%
(3)自分でできないから	139	22.0%
(4)固定しても被害は出ると思うから	99	15.7%
(5)費用がかかるから	152	24.1%
(6)部屋や家具を傷つけるから	79	12.5%
(7)家具類の無い安全な部屋があるから	114	18.1%
(8)借家・賃貸マンションのためできない	79	12.5%
(9)作りつけ家具などで固定しなくても大丈夫だと思うから	72	11.4%
(10)大きな地震が起きると思わないから	20	3.2%
(11)その他	47	7.4%
合計	1147	181.8%

問7 問5「15) 自宅の耐震診断や耐震改修の実施」で「行っていない(2~4のいずれか)」と回答された方にお聞きします。これらの対策を行っていない、または行わない主な理由は何ですか？(回答は3つまで)

n=431	回答数	構成率
(1)資金がないから	149	34.6%
(2)面倒だから	74	17.2%
(3)借家・賃貸のためできない	68	15.8%
(4)適切な方法が分からないから	126	29.2%
(5)大きな地震が起きるとは思わないから	23	5.3%
(6)その他	41	9.5%
合計	481	111.6%

問8-1) ご自宅に通常買い置いている食料や、備蓄している食料(調理不要な食品等)で災害時に何日程度暮らせるとお考えですか？(回答は1つ)

	回答数	構成率
(1)1~2日程度	447	47.3%
(2)3~4日程度	350	37.0%
(3)5~6日程度	74	7.8%
(4)1週間以上	39	4.1%
無回答	35	3.7%
合計	945	100.0%

問8-2) 「6) 食料や飲料水の備蓄」で「1行っている」と回答された方にお聞きします。ご自宅で災害用に備蓄している「飲料水」は何日分程度ですか？(家族1人あたり1日3リットルとして計算ください)(回答は1つ)

n=470	回答数	構成率
(1)1~2日程度	201	42.8%
(2)3~4日程度	142	30.2%
(3)5~6日程度	48	10.2%
(4)1週間以上	30	6.4%
無回答	49	10.4%
合計	470	100.0%

問9 防災に関する情報は、主にどこから入手していますか？（複数回答可）

n=945	回答数	構成率
(1)新聞・テレビ・ラジオ等のメディアから	859	90.9%
(2)書籍やインターネットから	240	25.4%
(3)望遠郷(安城市公式ウェブサイト)から	35	3.7%
(4)講演会・講座・セミナーから	28	3.0%
(5)町内会の回覧板から	274	29.0%
(6)職場から	68	7.2%
(7)家族・友人・知人から	133	14.1%
(8)その他	14	1.5%
合計	1651	174.7%

3 大地震発生時の行動と避難について

問10 大地震が発生したとき、有効と考えられる情報入手手段は何ですか？（回答は3つまで）

n=945	回答数	構成率
(1)テレビやラジオ	814	86.1%
(2)地域のケーブルテレビKATCH	175	18.5%
(3)SNS(フェイスブック、ツイッター等)	119	12.6%
(4)安城市防災ラジオ	272	28.8%
(5)インターネット(パソコン・携帯)	356	37.7%
(6)近所の人から	158	16.7%
(7)携帯アプリ	130	13.8%
(8)家族や知人との電話やメール	229	24.2%
(9)地域や職場・学校から	136	14.4%
(10)その他	5	0.5%
合計	2394	253.3%

問11 情報を入手する時、特に知りたい情報の種類は何ですか？（回答は3つまで）

n=945	回答数	構成率
(1)気象情報や地震の規模	455	48.1%
(2)家族や知人の安否情報	715	75.7%
(3)備蓄物資の提供情報	359	38.0%
(4)公共交通機関の被害・復旧情報	99	10.5%
(5)ライフラインの被害・復旧情報	577	61.1%
(6)市や地域の被害状況	163	17.2%
(7)避難場所の状況	233	24.7%
(8)市の対応状況	67	7.1%
(9)その他	3	0.3%
合計	2671	282.6%

問12 ご自宅からの避難場所（避難所・一時避難地・広域避難場所）、およびそこへの避難経路についてお聞きます。（回答は1つ）

	回答数	構成率
(1)避難場所、避難経路とも知っており、訓練等で確認したことがある	189	20.0%
(2)避難場所、避難経路とも知識として知っているが訓練等で確認したことはない	391	41.4%
(3)避難場所は知っているが、避難経路は知らない	246	26.0%
(4)避難場所も避難経路も知らない	109	11.5%
無回答	10	1.1%
合計	945	100.0%

問 13 あなたには災害時に頼れる人がいますか？（複数回答可）

n=945	回答数	構成率
(1)(同居の)家族	708	74.9%
(2)(別居の)家族	371	39.3%
(3)近所の人・隣人	295	31.2%
(4)その他	21	2.2%
(5)いない	73	7.7%
合計	2413	255.3%

4 防災活動への参加と助け合いについて

問 14 あなたはこの1年の間に、次の防災活動に参加したことがありますか？（複数回答可）

n=945	回答数	構成率
(1)安城市総合防災訓練(2015年11月21日)	32	3.4%
(2)自主防災組織(町内会)やマンション組合が主催する防災訓練等の活動	182	19.3%
(3)職場や学校の防災訓練	199	21.1%
(4)防災に関する講演会、セミナー、シンポジウムなどの催しや防災イベント	49	5.2%
(5)その他	7	0.7%
(6)いずれも参加したことはない	527	55.8%
合計	996	105.4%

問 15 問 14 で「6 いずれも参加したことはない」と回答された方にお聞きします。参加しなかった主な理由は何ですか？（回答は3つまで）

n=527	回答数	構成率
(1)仕事や用事等都合がつかなかったから	202	38.3%
(2)訓練等があることを知らなかったから	182	34.5%
(3)役に立たない、必要ないと思うから	18	3.4%
(4)面倒だから	80	15.2%
(5)以前に参加したことがあるから	92	17.5%
(6)関心がないから	32	6.1%
(7)病気や高齢のため	78	14.8%
(8)その他	25	4.7%
合計	709	134.5%

問 16 地域等で行われる防災活動で、参加してみたい活動は何ですか？（回答は3つまで）

n=945	回答数	構成率
(1)消火訓練	226	23.9%
(2)救急救命講習	351	37.1%
(3)防災運動会	142	15.0%
(4)避難所の設営・運営訓練	207	21.9%
(5)地域の防災マップづくり	114	12.1%
(6)家具転倒防止講習会	265	28.0%
(7)その他	46	4.9%
合計	1351	143.0%

問 17 地域等で行われる防災活動で、今後あって欲しい活動は何ですか？

※類似意見を集約／全意見は後述の「各設問の意見欄」を参照

○救急救命訓練

救急救命訓練・高齢者の搬送訓練／AED講習／瓦礫などには挟まれた人の救出方法の教育／ケガなどの手当て方法／けが人の応急手当や救助の仕方／救急救命器具の使用法／地域出張型救急救命講習

○消防訓練

煙の中の訓練／火災、空き巣／近隣火災の初期消火訓練／消火器、備蓄用食料の配布／消火器の使用法、実施など／消火器の点検／常時在宅者(高齢者中心)による救出活動／地域別の防火訓練

○避難訓練

アパート・マンション(高層)からの避難方法／市民全員での避難訓練／家族が高齢者のみの場合の避難方法／各町内会で年 1 回避難訓練／実際に避難所への避難する訓練／小さな子供や高齢者、障がい者を含め、みんなで避難場所、避難経路の確認／町内で避難所のことを話し合いたい／避難訓練／避難経路のウォーキング／避難施設に実際に宿泊／避難時の設営・運営訓練／避難所生活(トイレなど)や食料などがどれぐらいで届くかの説明／避難の概要説明会

○学習・体験

ペット、マナー、衛生などの講習／非常食品を使って食べられるレシピ／災害時における笑顔の増やし方／災害時の対処法(サバイバル etc)／災害情報弱者への理解講習／南海トラフ巨大地震を設定した各地域での対処法／日本語が理解できない人達のための各外国語対応／非常持ち出し品(の工夫)について／防災時に役に立つ知恵を教える講習会／防災用品の使い方(トイレ、食料など)の講習／家で出来る防災訓練／家具転倒防止講習会／身近な道具の便利な使用方法／地震体験、消火体験等の体験学習／情報収集方法、避難所でのプライバシー確保方法などの講習会／飯ごう炊飯体験

○防災訓練(全般)

炊き出し／ハザードマップの配布／安否確認の実際／高齢者のための訓練／炊き出しの訓練／炊き出しや非常時の食料の準備／地震時の安否確認訓練／非常食や物品の確認を行う活動／備蓄可能食品の試食／備蓄品の配布(ラジオや水)／防災運動会／夜の避難活動

問 18 大地震が起こり、ご自身やご家族の安全が確保されている場合、あなたは自主的にどのような活動に参加できますか？(回答は3つまで)

n=945	回答数	構成率
(1)近所の人などの安否確認	473	50.1%
(2)避難の誘導や手助け	258	27.3%
(3)近隣の火事についての初期消火	288	30.5%
(4)生理め者等の救出・救助	95	10.1%
(5)けが人や高齢者等の搬送	195	20.6%
(6)けが人の応急手当	82	8.7%
(7)避難所運営の手助け	260	27.5%
(8)炊き出しや食事の準備	383	40.5%
(9)その他	10	1.1%
(10)いずれにも参加できそうにない	106	11.2%
合計	2150	227.5%

問 19 大規模災害時に、ボランティアセンター（災害ボランティアの活動拠点）が立ち上がることを知っていますか？（回答は1つ）

	回答数	構成率
(1)知っていて、自分も参加する予定	23	2.4%
(2)知っている	229	24.2%
(3)知らない	550	58.2%
(4)分からない	101	10.7%
無回答	42	4.4%
合計	945	100.0%

問 20 防災活動として、以下の取り組みは必要だと思いますか？（各回答は1つ）

回答数	とても必要	必要	不要	分からない	無回答	合計
(1)防災に関する学習会や講演会の実施	267	518	8	82	70	945
(2)小中学生や高校生への防災啓発・防災教育	360	451	6	44	84	945
(3)地域で活動する防災リーダーや「防災士」の育成	274	458	11	121	81	945

構成率	とても必要	必要	不要	分からない	無回答	合計
(1)防災に関する学習会や講演会の実施	28.3%	54.8%	0.8%	8.7%	7.4%	100.0%
(2)小中学生や高校生への防災啓発・防災教育	38.1%	47.7%	0.6%	4.7%	8.9%	100.0%
(3)地域で活動する防災リーダーや「防災士」の育成	29.0%	48.5%	1.2%	12.8%	8.6%	100.0%

5 地震対策に関連する制度や施策について

問 21 市が実施する地震対策に関する制度や施策についてお聞きします。該当するものをお選びください。（各回答は1つ）

	回答数				構成率			
	はい	いいえ	無回答	合計	はい	いいえ	無回答	合計
(1)「安城市地震ハザードマップ」を見たことがある	663	229	53	945	70.2%	24.2%	5.6%	100.0%
(2)「安城市総合防災訓練」を実施していることを知っている	441	443	61	945	46.7%	46.9%	6.5%	100.0%
(3)「安城市版帰宅徒歩支援マップ」を見たことがある	148	730	67	945	15.7%	77.2%	7.1%	100.0%
(4)安城市が「防災ラジオ」を販売していることを知っている	534	361	50	945	56.5%	38.2%	5.3%	100.0%
(5)「木造住宅の無料耐震診断制度」「耐震改修補助制度」を知っている	448	431	66	945	47.4%	45.6%	7.0%	100.0%
(6)「非木造住宅の耐震診断費・耐震改修費補助制度」を知っている	280	587	78	945	29.6%	62.1%	8.3%	100.0%
(7)「住宅耐震改修に伴う固定資産税の減額措置」を知っている	141	732	72	945	14.9%	77.5%	7.6%	100.0%
(8)ブロック塀などの倒壊防止のための「生垣等設置奨励補助金制度」を知っている	85	790	70	945	9.0%	83.6%	7.4%	100.0%
(9)ひとり暮らし高齢者や障がい者世帯に対する「家具転倒防止器具取付事業」や「火災警報器設置事業」を知っている	155	724	66	945	16.4%	76.6%	7.0%	100.0%
(10)大規模災害時には市内5カ所に医療救護所が設置されることを知っている	116	761	68	945	12.3%	80.5%	7.2%	100.0%
(11)一般の避難所とは別に、障がい者や要介護者のための福祉避難所が市内の福祉センターに設置されることを知っている	110	772	63	945	11.6%	81.7%	6.7%	100.0%
(12)「災害時要援護者支援制度」を知っている	103	771	71	945	10.9%	81.6%	7.5%	100.0%
(13)「安全安心情報メール」に登録すると、気象警報、火災、防犯、避難に関するお知らせがメールで送られてくることを知っている	210	665	70	945	22.2%	70.4%	7.4%	100.0%

問 22 地震対策として今後、市に力を入れて取り組んでほしいことは何ですか？（回答は7つまで）

n=945	回答数	構成率
(1)避難所となる施設の環境整備(トイレ・通信・発電機など)	754	79.8%
(2)ボランティアセンターとなる施設の環境整備	298	31.5%
(3)上水道設備や橋りょうの耐震化	245	25.9%
(4)下水道施設(下水道管・マンホール・ポンプ場)の耐震化	260	27.5%
(5)防災拠点となる公共施設等の耐震化・不燃化	200	21.2%
(6)住宅や民間施設の耐震化促進のためのPRや支援の充実	86	9.1%
(7)自主防災組織の育成や自主防災活動への支援	94	9.9%
(8)学校や地域での防災学習の推進	177	18.7%
(9)水、食料等の備蓄の充実	668	70.7%
(10)災害時に手助けを要する人への対策の充実	208	22.0%
(11)帰宅困難者対策の推進	132	14.0%
(12)災害時の医療救護体制の充実	398	42.1%
(13)産官学民による災害時連携の強化	42	4.4%
(14)耐震診断や耐震補強工事などの補助制度の充実	124	13.1%
(15)住宅密集地域等への地震による火災防止対策	123	13.0%
(16)地震による火災延焼防止対策	128	13.5%
(17)家具転倒防止対策の推進	119	12.6%
(18)防災・減災に関する情報や市の取り組みなどの広報体制の充実	107	11.3%
(19)災害ボランティア活動への支援	122	12.9%
(20)女性の視点を踏まえた防災対策の充実	147	15.6%
(21)外国人への視点を踏まえた防災対策の充実	66	7.0%
(22)消防団活動支援の強化	103	10.9%
(23)非常時の電源確保に有効な設備の補助制度の充実	230	24.3%
(24)避難所となる公共施設への電力確保に有効な設備設置	325	34.4%
(25)その他	17	1.8%
合計	5173	547.4%

6 あなたご自身のことについて

問 23 (1) 性別

	回答数	構成率
男性	423	44.8%
女性	512	54.2%
無回答	10	1.1%
合計	945	100.0%

問 23 (2) 年齢

	回答数	構成率
(1)10～20歳代	102	10.8%
(2)30歳代	132	14.0%
(3)40歳代	179	18.9%
(4)50歳代	133	14.1%
(5)60歳代	180	19.0%
(6)70歳以上	208	22.0%
無回答	11	1.2%
合計	945	100.0%

問 23 (3) 家族の人数

	回答数	構成率
(1)1人	79	8.4%
(2)2人	228	24.1%
(3)3人	198	21.0%
(4)4人	208	22.0%
(5)5人以上	221	23.4%
無回答	11	1.2%
合計	945	100.0%

問 23 (4) あなたを含む同居のご家族で、次に該当する方はいますか？ (複数回答可)

n=945	回答数	構成率
(1)妊産婦	19	2.0%
(2)乳児・未就学児	121	12.8%
(3)障がい者	54	5.7%
(4)65歳以上の方	427	45.2%
(5)介護が必要な方	44	4.7%
(6)いない	325	34.4%
合計	990	104.8%

問 23 (5) お住まいの地区

	回答数	構成率
(1)東山中学校区	114	12.1%
(2)篠目中学校区	116	12.3%
(3)安城北中学校区	153	16.2%
(4)安城南中学校区	144	15.2%
(5)安祥中学校区	80	8.5%
(6)安城西中学校区	116	12.3%
(7)明祥中学校区	63	6.7%
(8)桜井中学校区	112	11.9%
無回答	47	5.0%
合計	945	100.0%

問 24 その他

(省略)

■ 各設問の「その他」の内容

(省略)